

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	化粧品化学	学年	1年
担当教員	黒澤正樹	学科	美容科	時間数	(1.0単位) 30コマ

授業内容	<p>国家試験の問題を分析すると、深い理解を問う問題よりも、幅広い知識（特にその単元ごとにおける語句の理解）を問う問題が増えている傾向がみられる。よって、各単元を深く掘り下げることも、国家試験に頻出される重要語句を繰り返し学習させ、明確に記憶できるようにさせる。また、授業後の小テストを積み重ねることにより、前向きに学習に取り組むという意識の向上に繋げるようにする。</p>
授業目標	<p>化粧品等に関する化学的知識を通して、美容を適切に行う能力と態度を育てることをねらいとし、化粧品や化学の基本的原理や応用について習得させる。国家試験の問題を分析しながら、それぞれの単元で重要な語句をしっかり学習させ、明確に記憶できるように心がけながら、生徒たちが自信をもって取り組めるように指導する。最終的に国家試験に全員合格できるような知識を確実にしながら、社会に出てその化学的な思考の礎にできるようにする。</p>
成績評価方法	<p>成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>
授業の方法 及び 講師紹介	<p>【講義】 授業に関しては、教科書の内容に沿った穴埋め式のまともプリントなどを使いながら理解を深めさせ、単元ごとに小テストなどを実施して理解度を確認する。 講師紹介：高校受験・大学受験の塾や予備校において、40年にわたり化学や物理（教科書内容から受験レベルまで）の指導をしているベテラン講師。</p>

授業計画及び学習の内容					
1	化粧品概論① 化粧品の社会的意義と必要条件と医薬部外品の定義（教科書P9～24）	19	スキンケア製品② 教科書P106～P115 コンディショニング用化粧水やクリーム乳液の種類と性質		
2	化粧品概論② 化粧品の使用による症状および医薬部外品の種類と注意（P9～P24） 1・2回の確認テスト	20	スキンケア製品③（クリーム・乳液） 教科書P106～P115 前回は続いて、クリームや乳液を確認19・20回の確認テスト		
3	化粧品の定義と法規制 医薬品医療機器等法における化粧品の定義 化粧品の販売規制と化粧品配合禁止成分など（P25～P45）	21	総復習3 教科書P9～P115 1回から20回までの総復習(重要語句チェック・4択演習)		
4	水と親水性溶媒① 物質と溶媒、有機化合物・無機化合物 アルコールの種類と特徴のまとめ（P47～P50）	22	スキンケア製品④ 教科書P116～P122 サンケア製品「（サンスクリーン製品とサンタン製火品）の違いその他UVAとUVBの違いなどの整理をさせる。		
5	水と親水性溶媒② 教科書P47～P50（前回からの続き）アルコールの復習と保湿剤・水素イオン指数（pH）4・5回の確認テスト	23	スキンケア製品⑤ 教科書P123～P128 美白用化粧品・打粉類・バック剤などの種類と性質をまとめる		
6	油性原料 教科書P51～P58 油性原料（油脂、ロウ、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、脂肪酸エステル、シリコン油など）	24	化学範囲補充2 第51回国家試験に出題された化学範囲（極性や水素イオン濃度など）を説明をして、理解を深める		
7	界面活性剤 教科書P59～P66 界面活性剤の種類と性質をまとめる 確認テスト	25	化粧品総合復習1 教科書P9～P128 前までの内容の総復習(重要語句のチェック)及び穴埋め問題 4択問題や○×問題演習しながら確認させる。		
8	総復習1 教科書P9～P661回から8回までの総復習（重要語句チェック）	26	冬休み暗記まとめ 2月の後期学科試験を目標に、ここまで学習してきた範囲において重要語句をしっかり整理して、それぞれ必ず復習チェックさせる		
9	高分子化合物と色材 教科書P67～P75高分子化合物（天然・半合成・合成）色材（無機顔料・タール色素など）	27	冬休み暗記まとめテスト 学科試験対策総まとめ 冬休み明け暗記テストを実施して、60点以下の学生には再テストを実施。 重要事項の総まとめの確認チェックをする		
10	天然色素と配合成分 教科書P76～95(緩衝液などの化学範囲を除く) 配合成分（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤など）をまとめる。重要語句を中心にしっかり暗記させる。	28	後期学科試験対策1 後期学科試験対策として重要事項の総まとめをして、それぞれ確実に暗記させる。 4 択問題演習		
11	前期総合 1～10回までに学習した内容をもう一度整理し直す。重要語句のまとめと4択問題などの演習	29	後期学科試験対策2 後期学科試験対策として重要事項の確認と4択問題演習をさせて確実に理解できるようにする。直前チェック演習		
12	前期重要事項暗記まとめ 前期試験に向けて、重要事項の暗記のまとめをさせる。初めての学科試験について、勉強の方法やポイントの整理をしながら、しっかり復習させる。	30	後期学科試験解説及び総合問題後期学科試験の解答と解説をする。 間違えた問題に関しては、なぜその選択肢が誤りなのかということをしっかり確認させ、より確実な理解をさせる。		
13	前期学科試験対策1 前期学科試験対策として、前回は配布した重要事項の確認と4択問題演習をさせて 確 実に理解できるようにさせる。				
14	前期学科試験対策2 前期学科試験対策のまとめと範囲の○×問題演習をさせてより確実に試験に合格 できるように学習させる。				
15	前期学科試験の解答と解説 間違えた問題に関しては、なぜその選択肢が誤りなのかということをしっかり確認 させ、より確実な理解をさせる。				
16	化学範囲補充 教科書P5,P62,P83～P85、P93 化学範囲（水素イオン指数、コロイド、合成樹脂、 緩衝作用など）				
17	総復習2 教科書P9～P95 1回から16回までの総復習(重要語句チェック・4択演習)				
18	スキンケア製品① 教科書P98～P105クレンジング化粧品（クレンジング用化粧水、クレンジングオイル石 けん、ゴディーシャンプーなど）の性質とはたらきをまとめる				

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	衛生管理 (管理技術)	学年	1年
担当教員	山本江理子	学科	美容科	時間数	(1.0単位) 30コマ

授業内容	理容業・美容業が不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務するため、特に消毒法は、理容・美容業務の衛生を保持するうえで最も重要な技術です。衛生管理の意義を十分理解し、適正な消毒方法を学習します。
授業目標	理容業・美容業が不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務するため、消毒法は、理容・美容業務の衛生を保持するうえで重要な技術であることを理解する。衛生管理の意義を十分理解し、適正な消毒方法を理解する。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 テキストとプリントを使用して授業を行う。

授業計画及び学習の内容

1	消毒法総論 消毒とは 授業の進め方、授業の概要病原微生物と非病原微生物消毒の原理	16	化学的消毒法(殺菌法) アルコール類による消毒② アルコール類の長所と短所
2	消毒の意義 殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義	17	化学的消毒法(殺菌法) 次亜塩素酸ナトリウム(塩素剤)による消毒①
3	理容・美容の業務と消毒との関係 消毒に関連のある法の規定 清潔保持と消毒 消毒を怠った場合の危険性と理容師・美容師の責任	18	化学的消毒法(殺菌法) 次亜塩素酸ナトリウム(塩素剤)による消毒② 次亜塩素酸ナトリウムの長所と短所
4	消毒法と適用上の注意 消毒法の種類 消毒(殺菌)に必要な条件	19	化学的消毒法(殺菌法) 界面活性剤(逆性石けん、両性界面活性剤)による消毒①
5	消毒法と適用上の注意 病原微生物の抵抗力 消毒薬・消毒薬使用液の使用、保存上の注意点	20	化学的消毒法(殺菌法) 界面活性剤(逆性石けん、両性界面活性剤)による消毒②
6	消毒法各論 理学的消毒法 紫外線消毒	21	化学的消毒法(殺菌法) グルコン酸クロロヘキシジンによる消毒 その他の消毒薬等
7	消毒法各論 理学的消毒法 紫外線消毒 紫外線消毒の長所と短所	22	化学的消毒法(殺菌法) 消毒薬の概要 器具の使い方 常備しておくよい消毒薬と希釈液の濃度
8	消毒法各論 理学的消毒法 煮沸消毒	23	すぐれた消毒法とその実施上の注意 すぐれた消毒法の条件 消毒を行う際の注意事項
9	理学的消毒法 蒸気(大気圧下の蒸気)消毒	24	消毒法実習 各種消毒 消毒薬希釈法①
10	理学的消毒法 その他の理学的消毒法 理容師法施行規則・美容師法施行規則 血液の付着及びその疑いのある器具と理学的消毒法①	25	消毒法実習 各種消毒 消毒薬希釈法②
11	理学的消毒法 病原微生物の抵抗力と理学的消毒法 理容師法施行規則・美容師法施行規則 血液の付着及びその疑いのある器具と理学的消毒法②	26	理容所・美容所の消毒の実際 理容所・美容所における消毒の原則 理容所・美容所の消毒設備 理容・美容器具類の消毒法(布片などの用具を含む)
12	前期期末試験対策 練習問題(国家試験 過去問題)	27	理容所・美容所の消毒の実際 理容師・美容師の手指の消毒
13	前期期末試験対策 練習問題(国家試験 過去問題)	28	後期期末試験対策 練習問題(国家試験 過去問題)
14	前期試験の解答解説	29	後期試験の解答解説
15	化学的消毒法(殺菌法) アルコール類による消毒①	30	理容所・美容所の消毒の実際 清潔保持と清掃・洗剤による洗浄法・洗い場の構造と清潔保持 青掃・刈り取った毛の処理、ふた付き汚物箱などの消毒 ハエや力などの駆除

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	衛生管理 (感染症)	学年	1年
担当教員	石井 秀美	学科	美容科	時間数	(1.0単位) 30コマ

授業内容	1. 感染症発見の歴史 2. 感染症の法律による分類・感染経路別分類・病原体の種類別分類 3. 微生物の種類・構造・増殖の様式・環境の影響 4. 微生物の病原性・感染の様式 5. 常在細菌叢 6. 免疫と予防接種 7. 感染症発生の要因と予防の三原則 8. 空気・飛沫を介する感染症 9. 飲食物を介する感染症 10. 血液を介する感染症 11. 動物間動物物を介する感染症 12. 感染症の具体的な対策 (標準予防策、咳のある客への対応、病室の皮膚をもつ客への対応、嘔吐をした客への対応)
授業目標	美容所は、不特定多数の人達が利用する施設のため、客や従業員を通して感染症を伝播する危険性がある。そのため、美容師免許証を取得しようとする者は、衛生上の危害を防止する知識を持つことが重要である。そこで、感染症の基礎知識として、感染経路、病原体の種類、感染症発症の要因、予防接種の効果、感染症の予防対策、更には呼吸器系感染症経口感染症、血液を介する感染症などの各論を理解させる。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 授業の方法： 1. 教科書として 日本美容美容教育センター発行「衛生管理」 第三編「感染症」を使用 2. 授業まとめプリント、国試合格のための見える集プリントを使用 3. 練習問題の実施と解説

授業計画及び学習の内容			
1	1.1.人と感染症 (1)感染症発見の歴史 感染症の今年度授業の進め方を説明する バスツール、コップ、ジェンナー、 フレミングの業績を中心に感染症研究の歴史を講義させる	19	(7)新型コロナウイルス 感染症 新型コロナウイルス感染症の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる
2	(2)感染症の分類 感染症法による分類 感染症法による1～5類、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症の分類 意義を理解させる	20	(8)麻疹 (9)百日せき 麻疹、百日咳の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる
3	衛生管理要領による制限 感染経路別分類 衛生管理要領による美容所における制限 結核・感染性皮膚疾患 感染症の病原体侵入門戸別分類とその意義を理解させる	21	(10)風しん 風しんの病原体・感染経路・症状・予防法、先天性風疹症候群を理解させる
4	病原体別分類 2.病原微生物 (1)微生物の種類 病原体別による感染症分類の意義と重要な感染症を理解させる 病原体の種類 (細菌、リケッチア、クラミジア、ウイルス) を理解させる	22	2) 経口感染症 (1)細菌性赤痢 (2)腸管出血性大腸菌 細菌性赤痢の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる 腸管出血性大腸菌感染症の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる
5	(2)形と大きさ (3)微生物の構造 細菌の構造と成分を理解させる 芽胞の初期芽胞、休眠芽胞、発芽、増殖の循環を理解 させる ウイルスの構造	23	(3)A型肝炎 (3)血液を介する感染症 (1)B型肝炎 ウイルス性肝炎の分類を理解させ、A型、B型肝炎の病原体・感染経路・症状・ 予防法を理解させる
6	(5)微生物の増殖と環 境の影響 細菌とウイルスの増殖の仕方を理解させる	24	(2)C型肝炎 (3)AIDS C型肝炎、後天性免疫不全症候群 (AIDS) の病原体・感染経路・症状・予防法を 理解させる
7	(4)微生物の生活環境 微生物の発育・増殖する条件を理解させる	25	(4)梅毒 (4) 動物を介する感染症 (1)ラッサ熱 梅毒の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる ラッサ熱の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる
8	3.感染症の予防 (1)微生物の病原性 微生物の病原性と宿主の関係、細菌の産生する毒素、変異、耐性などを理解させる	26	(2)ペスト (3)デング熱 (4)マラリア ペスト、デング熱、マラリアの病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる
9	(2)汚染・感染・発病 (3)常在細菌叢 不顕性感染、持続性感染、日和見感染を理解させる 常在細菌叢と日和見感染の 関係を理解させる	27	3節 具体的な感染対策 美容所における具体的な感染症予防対策として、咳をする客、痰を出す客、 嘔吐した客への対応などを理解させる
10	(4)免疫と予防接種 免疫の概念を理解させる。免疫と予防接種の種類、定期予防接種に指定されている 感染症を理解させる	28	後期試験対策練習問題 1 前・後期を通して国家試験の過去問題を解かせ、解説する
11	(5)感染症発症の要因 感染症発症の三大要因である感染源、感染経路、宿主の感受性を理解させる	29	後期試験対策練習問題 2 前・後期を通しての学年末過去問題を解かせ、解説する
12	(6)感染症予防の3原則 感染症予防の3原則を理解させる	30	後期試験の解説 後期試験の解答と解説
13	前期試験対策練習問題 1 前期講義範囲の国家試験過去問題		
14	前期試験対策練習問題 2 前期試験の過去問題を解かせ解説し、ポイントを理解させる		
15	前期試験問題の解説 前期試験問題の解答と解説		
16	2.1.感染症の各論 1) 空気・飛沫感染症 (1)結核 結核の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる		
17	(2)ジフテリア (3)SARSとMERS (4)鳥インフルエンザ ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、中東呼吸器症候群(MERS) 鳥インフルエンザの病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる		
18	(5)インフルエンザ (6)新型インフルエンザ インフルエンザの病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる 新型インフルエンザ等感染症の種類、新型インフルエンザの考え方を理解させる		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	保健 (皮膚)	学年	1年
担当教員	大久保 幸美	学科	美容科	時間数	(1.5単位) 45コマ

授業内容	皮膚というものの範囲から、皮膚及び皮膚付属器官の構造、生理、保健、病変を学んでいく。
授業目標	皮膚および皮膚付属器官について、① 基本的構造・機能、役割について詳しく学習する② 生理機能について知り、それらが果たす生体防御の仕組みを学ぶ。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 日本理容美容教育センターテキスト「保健」担当講師作成資料(各回 A4 1枚)

授業計画及び学習の内容					
1	第1章 皮膚の構造 皮膚の表面 シラバスに沿って効果的な授業を展開するために、今年度の授業の進め方について説明する。皮膚の基本構造を学ぶ。	24	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 5-2 皮膚を体内病変について詳しく学習する。「汗腺と皮膚」「腎臓と皮膚」「胃腸と皮膚」「糖尿病と皮膚」		
2	第1章 皮膚の構造 皮膚の断面/表皮1-2 皮膚の断面：表皮・真皮・皮下組織 表皮に存在する色素細胞とランゲルハンス細胞など角質層・顆粒層・有棘層・基底層について学習する。	25	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 5-3 「皮膚の水分量と脂の状態」「しみ」「しわ」「たるみ」「乾皮」「手荒れ」「口唇あれ」「脂性肌」「敏感肌」について学習する。		
3	第1章 皮膚の構造 表皮と真皮の境/真皮1-3 表皮と真皮の重なり合い 真皮の構造及びそこに存在する繊維や細胞などについて学び、それらが果たす役割を知る。	26	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 5-4 「皮膚・皮膚付属器官とホルモンの関係」については特に男性ホルモンが皮膚や毛に与える影響を重点的に学ぶ。皮膚の手入れや保護について学習する。		
4	第1章 皮膚の構造 皮下組織 皮膚の部位差 1-4 皮下組織が担う役割について学ぶ。皮膚は体の部位によって、それぞれ特性・特徴があることを学習する。理解を確実なものにしていく。4択問題に慣れる。	27	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 5-5 紫外線が皮膚に与える影響について学習する。皮膚表面のpH・硬い皮膚のケア・毛の保護と手入れ。爪の保護と手入れ・子どもの皮膚について学ぶ。		
5	第1章 学習範囲 4択問題 1-5 1章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。	28	第5章 学習範囲 2択問題 5-6 5章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。		
6	第1章 学習範囲 4択問題 1-6 1章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し	29	第5章 学習範囲 2択問題 5-7 5章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。4択問題に慣れる。		
7	第2章 皮膚付属器官の構造 毛の構造 2-1 毛の基本構造を学ぶ。部位の名称、役割、機能について学習する。特に毛母、メラニンなどについては重点的に学習する。	30	第5章 学習範囲 2択問題 5-8 1～5章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。4択問題に慣れる。		
8	第2章 皮膚付属器官の構造 毛の構造-毛の型の変化 2-2 毛の基本構造を学ぶ。毛は胎生毛・軟毛・硬毛と変化することを知る。また毛の変化に影響を与えるものは何かを学ぶ。	31	第5章 学習範囲 2択問題 5-9 1～5章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。4択問題に慣れる。		
9	第2章 皮膚付属器官の構造 毛の成長-立毛筋 2-3 毛の成長周期・立毛筋について学習する。毛には成長期・退行期・休止期があること、また、成長周期は体の部位によってそれぞれの長さが異なることを学ぶ。	32	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 6-1 皮膚疾患における基本的用語の整理 発疹とは何か? 発赤とは何か? など皮膚疾患に関する用語をしっかりと学んでいく。		
10	第2章 皮膚付属器官の構造 汗腺・汗腺・爪 2-4 汗腺の構造や存在する部位について学習する。汗腺の種類や機能、存在する部位について学習する。爪の構造、部位名称、役割について学習する。	33	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 6-2 湿疹・接触皮膚炎(かぶれ)について詳しく学ぶ。美容師業とかぶれの関係などもしっかりと学習する。パッチテストについて知る。		
11	第2章 学習範囲 2択問題 2-5 2章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。	34	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 6-3 接触皮膚炎(かぶれ)の種類と対処方法について学習する。日光皮膚炎・脂漏性皮膚炎などについて学ぶ。		
12	第2章 学習範囲 2択問題 2-6 2章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。4択問題に慣れる。	35	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 6-4 尋常性乾癬・薬疹・熱傷・タコ・ウオノメ・色素異常による皮膚疾患 進行性指掌角皮症・尋常性痤瘡など様々な皮膚疾患について学習し、理解を深める。		
13	第3章 皮膚の循環器系と神経系 3-1 皮膚に存在する血管や神経の構造について学ぶ。皮膚に存在するリンパ管の構造について知る。	36	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 6-5 皮膚の感染性疾患には何かがあるのか?を整理する。「化膿菌」「真菌」「ウイルス」「衛生害虫」などが引き起こす感染性疾患について学ぶ。		
14	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 4-1 皮膚の対外保護作用について学ぶ。皮膚はどういった仕組みで外的刺激から人体を守るのかを知る。皮膚の体温調節作用の仕組みについて学ぶ。	37	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 6-6 皮膚の感染性疾患には何かがあるのか?を整理する。「化膿菌」「真菌」「ウイルス」「衛生害虫」などが引き起こす感染性疾患について学ぶ。		
15	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 4-2 皮膚が持つ知覚作用(触覚・痛覚・冷覚・熱覚)について学ぶ。皮膚の分泌(皮脂・汗)について学習し、皮脂や汗が分泌されることで、人体にどのような作用が与えられるのかを学ぶ。	38	第6章 学習範囲 2択問題 6-7 6章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。		
16	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 4-3 皮膚が持つ、吸収作用・貯蔵作用・免疫解毒作用について詳しく学ぶ。毛の働き、爪の働きについて学習する。	39	第6章 学習範囲 2択問題 6-8 6章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。		
17	第4章 学習範囲 2択問題 4-4 4章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。	40	第6章 学習範囲 2択問題 6-9 6章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。		
18	第4章 学習範囲 2択問題 4-5 4章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。4択問題に慣れる。	41	期末試験対策 4択問題 7-1 1章～6章の範囲での学びを4択形式で出題。後期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。		
19	前期試験対策 4択問題 1章～4章の範囲での学びを4択形式で出題。前期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。	42	期末試験対策 4択問題 7-2 1章～6章の範囲での学びを4択形式で出題。後期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。		
20	前期試験対策 4択問題 1章～4章の範囲での学びを4択形式で出題。前期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。	43	期末試験対策 4択問題 7-3 1章～6章の範囲での学びを4択形式で出題。後期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。		
21	前期試験対策 4択問題 1章～4章の範囲での学びを4択形式で出題。前期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。	44	期末試験対策 4択問題 7-4 1章～6章の範囲での学びを4択形式で出題。後期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。		
22	前期試験対策 4択問題 1章～4章の範囲での学びを4択形式で出題。前期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。	45	皮膚科学 まとめ 後期試験の解説 1年間総括		
23	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 5-1 皮膚には、全身状態や精神状態、栄養などが様々な形で影響を与えるということを知る。増殖因子が皮膚に与える影響について学ぶ。				

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	文化論	学年	1年
担当教員	福淵 真実	学科	美容科	時間数	(1.0単位) 30コマ

授業内容	文化史の中の理容・美容／理容業・美容業の歴史／日本ファッション文化史
授業目標	①日本における理容業、美容業の歴史、ファッションの成り立ちを知識としてしっかり学び、問題を解くことで、国家試験のための実践力を身につける。②日本のマナーや風習をファッションから学び、社会に出た時の即座の実践力とし、また、創造的な創作活動への基盤としてファッションの歴史を活用できるようにする。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 講義形式、プリント配布。授業内ミニテストあり。国家試験をクリアすることはもちろんのこと、日本において美容業に携わる一社会人として、日本のファッションの歴史やマナーの知識を身につけていきましょう。パワーポイントや写真（プロジェクター使用）をフルに活用しインパクトに視覚的に印象付ける授業を心がけています。

授業計画及び学習の内容					
1	第1章 総論 理容・美容の語義と社会 ※教科書をベースに重要事項を板書、毎時間確認プリントを行う	19	第3章 ファッション文化史	大正時代	
2	第2章 日本の理容業・美容業の歴史	20	〃	昭和時代（戦前）	
3	第2章 髪結床の誕生～美容師になるまで	21	〃	昭和時代（戦後）	
4	第2章 髪結床の誕生～美容師になるまで	22	〃	1960年代	
5	第3章 ファッション文化史 縄文、弥生、古墳時代	23	〃	1970年代	
6	〃 飛鳥奈良時代	24	〃	1980年代、1990年代	
7	〃 平安時代	25	〃	2000年代～現在	
8	〃 鎌倉、室町時代	26	試験直前対策 一年間の総復習		
9	〃 安土桃山時代	27	試験直前対策 ★美容師学科試験過去問題演習 ★理容師学科試験過去問題演習		
10	〃 江戸時代（男性の髪型）	28	試験直前対策 ★美容師学科試験過去問題演習		
11	〃 江戸時代（女性の髪型）	29	試験直前対策 ファッションブランド史まとめ（日本）（海外）		
12	〃 江戸時代（化粧）	30	前期試験の解答と解説 20問の問題をひとつずつ解説 まとめ復習かるた		
13	〃 江戸時代（着物）				
14	試験直前対策 総論～歴史（縄文～江戸時代）の試験範囲の復習をする。★試験対策プリント				
15	前期試験の解答と解説 20問の問題をひとつずつ解説				
16	第3章 ファッション文化史 明治時代①				
17	第3章 ファッション文化史 明治時代②				
18	第3章 ファッション文化史 明治時代③				

2026年度シラバス

開講年度	2024年度	科目名	担当教員	学年	1年
担当教員	高野洋一、木原隆一、藤本純一、名久井博子、伊藤村秀吉	学科	美術科	講義数	(3,0単位) 50
授業内容	授業に必要となる資料が必要である。授業も随時行うことで、進捗の遅れも起こることも懸念される。				
授業目標	専攻科教育も取得するに必要となる学習の理解を促す。				
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率も上記1年間の単位も要する。95点以下は再試験を受ける必要がある。合格点は再試験と異なる。				
授業の方法 及び 履修条件	【備考】 担当教員は、専攻科専攻で履修経験があり、授業と実習に基づいてのやり取りがスムーズに実施される。				
履修計画及び単位の取得					
1	授業の進め方、プレゼンテーションの基本的なポイントの扱い方、課題・授業について	48	ヘアケアマイスター		
2	1年 認定した必修・任意科目と選択科目の履修計画、入居希望校	47	ヘアケアマイスター		
3	1年 1学期履修計画における履修計画、2学期の履修計画、履修計画、入居校	48	ヘアケアマイスター		
4	ヘアケアの基礎、美容法、お風呂の入れ方、シャンプーの入れ方	49	ヘアケアマイスター		
5	カラーの基礎、カラーの入れ方、カラーの入れ方	50	ヘアケアマイスター		
6	ヘアケアマイスターヘアケアマイスターヘアケアマイスター	51	ヘアケアマイスター		
7	1年 履修計画と履修計画	52	ヘアケアマイスター		
8	1年 履修計画と履修計画	53	ヘアケアマイスター		
9	1年 1学期履修計画の進め方、お風呂の入れ方、お風呂の入れ方、お風呂の入れ方	54	ヘアケアマイスター		
10	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	55	1年 1学期履修計画と履修計画、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎		
11	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	56	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎		
12	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	57	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎		
13	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	58	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎		
14	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	59	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎		
15	履修計画と履修計画	60	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎		
16	履修計画と履修計画	61	履修計画と履修計画		
17	1年 履修計画と履修計画	62	履修計画と履修計画		
18	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	63	1年 履修計画と履修計画、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎		
19	履修計画と履修計画、履修計画、履修計画	64	履修計画と履修計画、履修計画、履修計画		
20	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	65	履修計画と履修計画、履修計画、履修計画		
21	履修計画と履修計画	66	履修計画と履修計画、履修計画、履修計画		
22	履修計画と履修計画	67	履修計画と履修計画、履修計画、履修計画		
23	履修計画と履修計画	68	履修計画と履修計画、履修計画、履修計画		
24	1年 履修計画と履修計画、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	69	履修計画と履修計画 / 履修計画と履修計画		
25	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	70	履修計画と履修計画 / 履修計画と履修計画		
26	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	71	履修計画と履修計画 / 履修計画と履修計画		
27	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	72	履修計画と履修計画 / 履修計画と履修計画		
28	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	73	履修計画と履修計画 / 履修計画と履修計画		
29	履修計画と履修計画	74	履修計画と履修計画 / 履修計画と履修計画		
30	履修計画と履修計画	75	履修計画と履修計画		
31	1年 履修計画と履修計画、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	76	履修計画と履修計画		
32	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	77	履修計画と履修計画		
33	ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎、ヘアケアマイスターの基礎	78	履修計画と履修計画		
34	履修計画と履修計画	79	履修計画と履修計画		
35	履修計画と履修計画	80	履修計画と履修計画		
36	履修計画と履修計画	81	履修計画と履修計画		
37	履修計画と履修計画	82	履修計画と履修計画		
38	履修計画と履修計画	83	履修計画と履修計画		
39	履修計画と履修計画	84	履修計画と履修計画		
40	履修計画と履修計画	85	履修計画と履修計画		
41	履修計画と履修計画	86	履修計画と履修計画		
42	ヘアケアマイスター	87	履修計画と履修計画		
43	ヘアケアマイスター	88	履修計画と履修計画		
44	ヘアケアマイスター	89	履修計画と履修計画		
45	ヘアケアマイスター	90	履修計画と履修計画		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	美容実習 (ヘアウェーブ・ヘアスタイリング)	学年	1年
担当教員	薄野知子・太田俊一・藤本拓希・名久井球乃・伊藤村竜哉	学科	美容科	時数	(15.0単位) 172コマ
授業内容	<p>美髪の手続きを安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させる。 美髪所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美髪技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。</p>				
授業目標	<p>国家試験課題の構成を理解する 基礎を学ぶ</p>				
成績評価方法	<p>成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合、単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容実習で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。</p>				

授業計画及び学習の内容			
1	コームの持ち方・動き・手の動き・ローション塗布・6編7段構成	16	リフトカール、メイボールカール
2	半円（ハーフウェーブ）、リッジ	17	リフトカール、メイボールカール
3	フルウェーブ・フェイスライン	18	7段構成の理解
4	構成理解・ウェーブ幅、立ち位置確認	19	7段構成の理解
5	カールの大きさ、収まり理解	20	7段構成の理解
6	構成理解・2～3段目髪がりウェーブ編	21	衛生練習
7	構成理解・くり抜き編、耳上処理	22	衛生練習
8	スカルプチュアカールとウェーブの髪がり	23	全体タイム取り
9	ウェーブとスカルプチュアカールの髪がり・構成	24	全体タイム取り
10	ウェーブとスカルプチュアカールの髪がり・構成	25	全体タイム取り
11	ウェーブとスカルプチュアカールの髪がり・構成	26	全体タイム取り
12	ウェーブ幅確認、左右収まり確認	27	編組試験
13	クロックノールカール・作り方・収まり確認	28	カール練習
14	クロックノールカール・作り方・収まり確認	29	カール練習
15	リフトカール、メイボールカール	30	試験

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	美容実習 (フインディング)	学年	1年
担当教員	海野知子・大田優一・藤本拓希・名久月映乃・伊勢村智羽	学科	美容科	時間数	(15.0単位) 144コマ
授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組み合わせ完成させる技術を習得させる。 美容師における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の需要に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。				
授業目標	国家試験課題の構成を理解する 基礎を学ぶ				
成績評価方法	成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合、単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	道具の扱い・準備の仕方	16	全講
2	センターブローキング	17	全講・衛星補習
3	センター（上巻、下巻）	18	全講・衛星補習
4	センター（上巻、下巻）	19	模擬試験
5	センター（上巻、下巻）	20	全講・衛星補習
6	レベルチェック	21	試験
7	フロント～バックサイド	22	フインディングコンテスト練習
8	フロント～バックサイド	23	フインディングコンテスト練習
9	フロント～バックサイド	24	フインディングコンテスト練習
10	レベルチェック	25	フインディングコンテスト
11	ネープ～サイド		
12	ネープ～サイド		
13	ネープ～サイド		
14	ネープ～サイド		
15	レベルチェック		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	美容実習 (その他)	学年	1年
担当教員	海野知子・太田俊一・藤本拓希・名久井咲乃・伊勢村有羽	学科	美容科	時間数	(15.0単位) 134コマ
授業内容	国家試験合格に向け、集中的に課題に取り組む				
授業目標	オールウェーブセッティング用ウィッグの作成、国家試験（衛生の練習） サロン実習を通じ、現場を知る SNSの授業				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	シザーの使い方、ヘアアレンジ	16	撮影
2	シザー、レザーの使い方	17	衛生
3	オールウェーブセッティングウィッグ作成（カット）	18	衛生
4	オールウェーブセッティングウィッグ作成（カット）	19	衛生
5	オールウェーブセッティングウィッグ作成（カット）	20	SNS
6	オールウェーブセッティングウィッグ作成（カット）		
7	オールウェーブセッティングウィッグ作成（カット）		
8	オールウェーブセッティングウィッグ作成（カット）		
9	ロッド巻き・薬液処理		
10	ロッド巻き・薬液処理		
11	ロッド巻き・薬液処理		
12	インターンシップ		
13	インターンシップ		
14	インターンシップ		
15	撮影		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス	学年	1年
担当教員	海野知子・太田俊一・藤本拓希・名久井咲乃・伊勢村有羽	学科	美容科	時間数	(1.0単位) 30コマ

授業内容	美容サービスの一端として行うカウンセリングの意義、目的、内容、実施上の留意点などについて、 実地に即した課題を提起し自らが学び、美容師の業務を全うするためには、正確な技術を提供するとともに、 顧客の要望に応じた適切なカウンセリングの実施が重要であることを知る。
授業目標	人間力アップ・働く心構え
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 講義形式、美容業に携わる一社会人として、マナーの知識を身につけていく。 パワーポイントをフルに活用し、ディスカッションなどを多くして学生の人間力が上がる授業を実施している。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	オリエンテーション 自己紹介	16	現場で活躍する先輩の話を聞く
2	第一印象	17	長所と短所を考える
3	SNS授業（アカウント作成）	18	ジョブフェアについて
4	クラス目標	19	集団面接練習
5	在校生インタビュー	20	キャリアマップ
6	現場で活躍する先輩の話を聞く	21	キャリア発表
7	学園祭打合せ	22	就職体験談
8	企画書 アポイント	23	インターンシップについて 電話のかけ方など
9	夏休み宿題インタビューについて	24	履歴書 キャリアマップ
10	一緒に働きたい人を考える	25	インターンシップの心構え
11	業界ガイダンス	26	ドリフェス準備
12	サロン見学注意事項	27	ドリフェス準備
13	サロン見学 発表会	28	履歴書 キャリアマップ
14	前期の反省 後期目標	29	ホットベッパービューティー
15	就職希望調査	30	1年振り返り

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ヘアケアー	学年	1年
担当教員	海野知子・太田俊一・藤本拓希・名久井咲乃・伊勢村寿羽	学科	美容科	時間数	(2.0単位) 60コマ
授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得する技術習得のため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるように総合的な技術の基礎を身に付けさせる。				
授業目標	シャンプーの流れ、手技を学ぶ 気持ちの良いシャンプーを心掛ける				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法及び講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				

授業計画及び学習の内容			
1	板書（手技）・クロス付け	16	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ
2	ブレンリンス、ファーストシャンプー（ウィッグ）手技確認 ※サイドシャンプー	17	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ
3	ブレンリンス、ファーストシャンプー（ウィッグ）手技確認 ※バックシャンプー	18	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ
4	サイドシャンプー・ブラッシング・ドライ	19	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ トリートメント技術
5	サイドシャンプー・ブラッシング・ドライ	20	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ トリートメント技術
6	バックシャンプー・ブラッシング・ドライ		
7	バックシャンプー・ブラッシング・ドライ		
8	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
9	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
10	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
11	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
12	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
13	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
14	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
15	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティー (ヘアスタイリストコース)	学年	1年
担当教員	太田俊一・藤本拓希	学科	美容科	物量数	(7.0単位) 210コマ
授業内容	基本的技術から発展させた高度な技術・知識を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、 専門技術者としての心構えを身に付けさせること。				
授業目標	現場に基づいた技術やサロンワークを学ぶ 有名アーティストの技を見る 毛髪知識の習得を高める				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+出席度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% ＝56点-7点+10点 ＝73点(成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニター等を使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容業界で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	カット	21	メンズパーマ
2	ヘアカラー	22	カット＆ヘアカラー
3	カット	23	メンズパーマ
4	撮影	24	カット＆ヘアカラー
5	ヘアカラー	25	デモンストレーション
6	カット	26	コンテスト仕込み(カット・カラー)
7	ヘアカラー	27	コンテスト仕込み(カット・カラー)
8	パーマ	28	コンテスト仕込み(カット・カラー)
9	メイク	29	コンテスト仕込み(カット・カラー)
10	パーマ	30	コンテスト仕込み(カット・カラー)
11	メイク	31	発表準備
12	ヘアアレンジ	32	発表準備
13	ヘッドスパ	33	発表準備
14	ヘアアレンジ	34	発表準備
15	メンズカット	35	夢の発表
16	メイク、メンズカット		
17	撮影		
18	髪毛矯正		
19	カット(刈り上げ)		
20	ヘアアレンジ		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティー (ヘアメイクコース)	学年	1年
担当教員	八木 美紀・伊勢村 裕羽	学科	美容科	時間数	(7.0単位) 210コマ

授業内容	基本的技術から発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習得させ、 専門技術者としての心構えを身に付けさせること。
授業目標	プロからの技術を学ぶ ヘアメイクや作品作り等現場の技術を学ぶ
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対しての正確度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って講く技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	ヘアアレンジ（ビンの止め方、編み込み、コテの巻き方・1スタイル作る）	21	メイク（アドバンス検定に向けて）マツエク
2	メイク（プライマリー セッティング、化粧水・乳液）	22	メイク（アドバンス検定）
3	ヘアアレンジ（波巻巻きリボン・ギブソンタック・カチ巻ヘア）	23	ブライダル
4	メイク（プライマリー ファンデーション手順）	24	撮影
5	ヘアアレンジ（夜会巻き応用スタイル） メイク（プライマリー 顔面の練習・アイブロウ・アイメイク・ハイライト・シェーディング）	25	ブライダル
6	ヘアアレンジ（リボンヘア2パターン） メイク（プライマリー 顔面の練習・チーク・リップ）	26	撮影
7	ヘアアレンジ（成人式ヘア） メイク（プライマリー 顔面の練習、一連の流れ）	27	ブライダル
8	メイク（プライマリー検定に向けて練習） アレンジ（コンテスト練習）	28	ヘアメイクコンテスト
9	メイク（プライマリー検定に向けて練習） アレンジ（コンテスト練習）	29	ヘアメイクコンテスト
10	メイク（プライマリー検定）	30	ヘアメイクコンテスト
11	アレンジ（コンテスト）	31	発表準備
12	RMKデモンストレーション マツエク	32	発表準備
13	メイク（アドバンス検定に向けて） マツエク	33	発表準備
14	メイク（アドバンス検定に向けて） マツエク	34	発表準備
15	ケサランパサランデモンストレーション	35	夢の発表
16	ヘッドスパ		
17	メイク（アドバンス検定に向けて） マツエク		
18	メイク（アドバンス検定に向けて） マツエク		
19	メイク（アドバンス検定に向けて） マツエク		
20	MACデモンストレーション ブライダル（チャペル見学）		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティー (韓国ビューティーコース)	学年	1年
担当教員	瀧野知子・名久井映乃	学科	美容科	時間数	(7.0単位) 210コマ
授業内容	基本的技術から発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、 専門技術者としての心構えを身に付けさせること。				
授業目標	韓国ビューティーを学ぶ TOPIK3級を目指す				
成績評価方法	・出席80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出席70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	韓国語/アレンジ (カチモリ・道具の使い方)	21	韓国語/カット (レイヤースタイル)
2	韓国語/アレンジ (アイロンの使い方)	22	韓国語/スタイリングデモンストレーション
3	韓国語/アレンジ (シニヨン・すき毛の使い方)	23	韓国語/スタイリング・撮影
4	韓国語/アレンジ (リボンヘア)	24	韓国語/スタイリング・撮影
5	韓国語/アレンジ (韓国アイドルヘア)	25	撮影フォトスタジオ
6	韓国語/アレンジ (ブチコンテスト)	26	韓国語/韓国ヘアメイク (メンズヘア)
7	韓国語/TOPIKの解き方	27	韓国語/韓国ヘアメイク (メンズヘア)
8	韓国語/メイク (デモンストレーション)	28	韓国語/韓国ヘアメイク (レディースヘア)
9	韓国語/メイク (肌作り)	29	韓国語/韓国ヘアメイク
10	韓国語/メイク (目元メイク)	30	韓国語/韓国ヘアメイク
11	韓国語/メイク (スキンケア)	32	発表準備
12	韓国語/メイク (フルメイク)	33	発表準備
13	韓国語/メイク (フルメイク)	34	発表準備
14	韓国語/カット (レイヤースタイル)	35	夢の発表
15	韓国語/カット (レイヤースタイル)		
16	韓国語/カット (レイヤースタイル)		
17	韓国語/TOPIK模試		
18	韓国語/チマチョゴリ体験		
19	韓国語/カット (レイヤースタイル)		
20	韓国語/カット (レイヤースタイル)		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	運営管理	学年	2年
担当教員	野上淳	学科	美容科	単位数(コマ数)	1.0単位(30コマ)

授業内容	・経営者の視点として、経営戦略、業界の概要、資金管理について ・労務管理、社会保険について ・サービス、マーケティング、接客について
授業目標	・国家試験合格のための知識を身につける ・経営者としての基礎知識を学ぶ ・マーケティング、顧客についての考え方、接客などの美容の仕事について必要なことを学ぶ
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 国家試験重要項目については、解説の後、内容をまとめたプリントに学生が記入していく。その他の項目は板書を中心に解説を行う。 授業の方法のみ

授業計画及び学習の内容

1	経営とは・経営者とは	19	労働保険
2	顧客のために	20	労働保険
3	サービス・マーケティング	21	健康・安全な職場環境の実現
4	サービスにおける人の役割	22	公的年金の復習
5	理容業・美容業の経営について	23	医療保険の復習
6	資金の管理	24	労働保険の復習
7	税金について	25	後期学科試験範囲復習
8	税金の申告	26	後期学科試験解説
9	人という資源	27	国家試験対策
10	労働者の権利	28	国家試験対策
11	社会保険	29	国家試験対策
12	前期学科試験範囲復習	30	国家試験対策
13	前期学科試験範囲復習	31	
14	前期学科試験解説	32	
15	公的年金	33	
16	公的年金	34	
17	医療保険	35	
18	医療保険		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	関係法規	学年	2年
担当教員	高橋由香	学科	美容科	単位数(コマ数)	1.0単位(30コマ)

授業内容	美容師法や美容業に関連する様々な法規について学び、美容師として社会で働くために、開設者として美容業を営む上で遵守すべき法令や知識を学びます。 第1章では社会における法の役割、法の種類及び衛生法規について、第2章では国と地方の行政の関係、衛生行政及び保健所について、第3章では理容師法・美容師法について、第4章では美容師として業を行う際に関係のある代表的な12の法律について学びます。
授業目標	基本的な法律用語や知識を覚え、美容師・経営者（開設者）が遵守すべき法令を理解する。 美容師国家試験に合格し、美容の業を適正に行う美容師になることを目指します。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法及び講師紹介	【講義】 教科書に沿って作成したプリントを配布。プリントはノート兼、重要な語句を覚えるためのものでカッコの穴埋め式。 黒板に板書した語句や説明をプリントに記入しながら授業を進めていきます。教科書を読み、マーカーペン等で線を引ながら重点箇所を確認します。 授業の方法のみ

授業計画及び学習の内容

1	法の種類を効力の大きい順に覚える。 本科目の説明・第1章：法制度の概要 第1節：社会生活における法の役割	19	美容業の衛生に関する法律を知る。 確認テスト（行政処分と罰則）第4章 関連法規 衛生に関する法律
2	美容業関係の法令を覚える。 第2節：法の形式	20	美容業の衛生に関する法律を知る。 衛生に関する法律
3	衛生法規、衛生行政の意義を知る。 第3節：衛生法規の概要 第2章：衛生行政の概要 第1節：衛生行政の意義と歴史	21	美容業の振興に関する法律を知る。 業の振興に関する法律
4	保健所の役割、保健所を設置できる機関を覚える。 第2節：衛生行政の分類 第3節：衛生行政を担う行政機関（保健所の役割）	22	美容業の消費者保護に関する法律を知る。 消費者保護に関する法律 練習問題（関連法規）
5	美容師法第1条と第2条を暗記する。 第3章：美容師法、第1節：目的、第2節：用語の定義	23	学科試験対策 確認テスト（第4章） 練習問題（行政処分と罰則）
6	美容師になるまでの流れを理解する。 第3節：人（美容師）に関する規定 美容師養成施設	24	学科試験対策 練習問題（第3章）
7	美容師になるまでの流れを理解する。 美容師試験	25	学科試験で満点をとる。 後期のまとめ（学科試験対策）
8	美容師になるまでの流れを理解する。 免許と登録、免許の結核条件	26	国家試験対策 後期学科試験の振り返り 筆記試験対策（行政処分と罰則）
9	美容師の義務を理解する。 美容師の義務、美容師免許の変更などの手続き	27	国家試験対策 筆記試験対策（国家試験過去問題）
10	管理美容師とは何かを理解する。 業務停止・免許取消及び再免許 管理美容師	28	国家試験対策 筆記試験対策
11	学科試験につながるように勉強する。 確認テスト（第3章）	29	国家試験対策 筆記試験対策
12	学科試験につながるように勉強する。 前期のまとめ（学科試験対策）	30	国家試験対策 筆記試験対策
13	学科試験で満点をとる。 前期のまとめ（学科試験対策）		
14	美容所を開設するための手続きについて理解する。 第4節：施設（美容所）に関する規定 美容所の開設、検査確認		
15	開設者の衛生措置（義務）を理解する。 第4節：施設（美容所）に関する規定 開設者の継承・重複開設・開設者が講ずべき衛生措置		
16	美容業と保健所の関係性を理解する。 美容所以外の業務 第5節：立入検査と環境衛生監視員		
17	行政処分を暗記する。 第5節：違反者に対する行政処分 免許取消処分・業務停止処分・美容所の閉鎖命令		
18	行政処分と罰則を暗記する。 第7節：罰則・30万円以下の罰金 練習問題（行政処分と罰則）		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	衛生管理 (公衆衛生)	学年	2年
担当教員	大久保 幸美	学科	美容科	単位数(コマ数)	1.0単位(30コマ)

授業内容	「公衆とは何か」「衛生とは何か」といった基礎的な部分から公衆衛生・環境衛生を理解する。「公衆」といういわゆる「社会」における美容師業の責務や位置付けについて学ぶ。
授業目標	公衆衛生においては、我が国の公衆衛生の歴史や近年の動向を学習し、また保健所の業務や役割を知る。環境衛生においては、人間が快適に生きるためにはどのような環境が必要かを学び、それを実践に繋いでいけるよう知識を習得する。後半は国家試験を意識し、これまでに国家試験で出題された箇所を重点的に復習する。何度も模擬試験等を繰り返すことで、より知識を確実なものにしていき、国家試験合格に導いていく。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 対面・パワーポイント（モニター）を使用 授業の方法のみ

授業計画及び学習の内容

1	公衆衛生① 公衆衛生とはなにか その意義と役割、歴史	19	環境衛生④ 光・換気・冷暖房
2	公衆衛生② 美容師と公衆衛生 保健所 母子保健	20	環境衛生⑤ 上下水道・ゴミ・害虫
3	公衆衛生③ 母子保健の意義 母性・小児の健康管理	21	環境衛生 金範問 2択問題
4	公衆衛生④ 成人の寝巻の動向について学ぶ	22	環境衛生正誤問題
5	公衆衛生⑤ 健康増進対策 健康日本21・がん	23	環境衛生 金範問 4択問題
6	公衆衛生⑥ 脳血管障害・糖尿病 OOPD・喫煙・アルコール	24	後期試験対策①
7	公衆衛生⑦ 高齢者の保健と福祉 精神保健	25	後期試験対策②
8	公衆衛生 金範問 2択問題 ①	26	国試対策①
9	公衆衛生 金範問 2択問題 ②	27	国試対策②
10	公衆衛生過去問①	28	公衆衛生環境衛生 ゲーブル題
11	公衆衛生過去問②	29	国試対策③
12	公衆衛生正誤問題	30	国試対策④
13	前期試験対策①		
14	前期試験対策②		
15	前期試験対策③		
16	環境衛生① 環境衛生とは何か 美容界と環境衛生について		
17	環境衛生② 空気環境とそれがもたらす様々な害について学ぶ		
18	環境衛生③ 温熱環境・湿度・湿度 衣服の役割		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	化粧品化学	学年	2年
担当教員	黒澤正樹	学科	美容科	単位数(コマ数)	1.0単位(30コマ)

授業内容	国家試験の問題を分析すると、深い理解を問う問題よりも、幅広い知識（特にその単元ごとにおける語句の理解）を問う問題が増えている傾向がみられる。よって、各単元を深く掘り下げることも、国家試験に頻出される言葉を繰り返し学習させ、明確に記憶できるように心がけながら自信をもって取り組めるようにする。後期は過去問やオリジナルの4択問題演習及び解説を中心に国家試験合格をより確実にさせる。
授業目標	化粧品等に関する化学的知識を通じ、美容を適切に行う能力と態度を育てることをわらわし、化粧品や化学の基本原理や応用について習得させる。最終的には国家試験に対応できるしっかりとした学力を習得させる。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 授業に関しては、教科書の重要語句などの穴埋め問題まとめ・4択問題・〇×問題などの演習を繰り返しながら、国家試験に対するより確実な理解を充実させていく。 講師紹介：高校受験・大学受験の塾や予備校において、40年にわたり化学や物理（教科書内容から受験レベルまで）の指導をしているベテラン講師。

授業計画及び学習の内容

1	化粧品化学1年内容復習1（1年で学習した内容の総復習）	19	国家試験対策過去問2
2	化粧品化学1年内容復習2（重要語句確認および4択・〇×問題演習）	20	化粧品化学重要範囲復習
3	メイクアップ製品 ファンデーション、口紅、頬紅、アイシャドウ、ネイルなど	21	化粧品化学総復習
4	ヘアケア・ヘアメイクアップ シャンプー、リンス、スタイリング剤など	22	化粧品総合問題復習3（4択・〇×問題演習）
5	パーマ剤 パーマネットウェーブ用剤、パーマの原理	23	後期学科試験対策1（4択問題演習）
6	1から5までの復習・確認演習	24	後期学科試験対策2（〇×問題演習）
7	頭皮・毛髪用化粧品 ヘアカラー製品（一時染毛料、半永久染毛料、永久染毛料）	25	後期学科試験対策3（〇×問題演習）
8	染毛剤・スカルプ製品 酸化染毛剤、ブリーチ剤など	26	後期学科試験解説及び総合問題
9	化粧品総復習 これまでの学習内容の総復習	27	冬休み重要語句まとめ（一問一答問題を含む）
10	パーマ剤・カラー復習（育毛剤含む） 4択問題に挑戦	28	国家試験対策重要語句 確認および4択問題演習
11	前期重要事項暗記まとめ 化粧品総復習および重要事項の暗記	29	国家試験対策直前チェック
12	前期学科試験対策1（4択問題演習）	30	国家試験対策直前重要語句チェック
13	前期学科試験対策2（〇×問題演習）		
14	前期学科試験解説及び総合問題		
15	化粧品総合問題復習1（4択・〇×問題演習）		
16	国家試験対策過去問1		
17	化粧品総合問題復習2（4択・〇×問題演習）		
18	国家試験対策1		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	文化論	学年	2年
担当教員	西澤レイ	学科	美容科	単位数(コマ数)	1.0単位(30コマ)

授業内容	2年次の文化論では、西洋の文化史における理容・美容の成り立ちについて学んでいく。各時代の人々が、どのような時代背景の中で、どのような美しさを求めたのかを知り、現代に繋がる「美しさ」の変遷を見ていく。また、理容師・美容師として関わる文化的慣習として冠婚葬祭、主に婚礼があるが、そこで着用される礼装の種類について、服装と髪型の組み合わせを歴史の流れから紐解き、どのようにして現代の形にたどりついたのかを学ぶ。
授業目標	理容・美容の歴史を学ぶことで、今求められている「美しさ」を知る手掛かりとしたり、創造の糧として活かせるように文化論の知識を習得する。礼装の種類は、和装編・洋装編ともに、それぞれの名称や特徴をしっかりと覚える。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 講義形式。持ち物は、文化論 指定教科書、ノート、プリントを保管するファイル、筆記用具。 授業の方法のみ

授業計画及び学習の内容			
1	オリエンテーション ファッション文化史 西洋編 (古代エジプト)	19	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習③1945年～1950年代
2	ファッション文化史 西洋編 (古代ギリシャ・ローマ・古代ゲルマン)	20	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習④1960年代
3	ファッション文化史 西洋編 (中世ヨーロッパ)	21	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習⑤1970年代
4	ファッション文化史 西洋編 (近世Ⅰ (16世紀))	22	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習⑥1980年代
5	ファッション文化史 西洋編 (近世Ⅱ (17世紀)・近世Ⅲ (18世紀))	23	総復習⑦和装・洋装の礼装
6	ファッション文化史 西洋編 (近代 (18世紀末～19世紀初め) 近代 (19世紀))	24	後期試験対策・試験範囲総復習
7	ファッション文化史 西洋編 (現代 (1910年代～1920年代))	25	後期試験対策・20問形式問題トライアル
8	ファッション文化史 西洋編 (現代 (1930年代～1940年代前半) 現代 (1940年代後半～1950年代))	26	後期試験の解答と解説
9	ファッション文化史 西洋編 (現代1960年代)	27	国家試験対策 国家試験過去問を解かせる
10	ファッション文化史 西洋編 (現代1970年代)	28	国家試験対策 国家試験範囲となる全ての問題を解かせる
11	ファッション文化史 西洋編 (現代1980年代) 現代 (1990年代～2010年)	29	国家試験対策 国家試験範囲となる全ての問題を解かせる
12	前期試験対策・試験範囲総復習	30	国家試験対策 国家試験範囲となる全ての問題を解かせる
13	前期試験対策・20問形式問題トライアル		
14	前期試験の解答と解説		
15	礼装の種類 (国家試験範囲) 和装の礼装		
16	礼装の種類 (国家試験範囲) 洋装の礼装		
17	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習①明治時代		
18	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習②大正・昭和時代		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	保健 (人体)	学年	2年
担当教員	大須賀節子	学科	美容科	単位数(コマ数)	1.5単位(45コマ)

授業内容	人体の構造や機能について学び、理解を深める。頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる職業を目指すにあたり、保健衛生分野における人体の構造や機能について深い知識を得る。
授業目標	美容師は、国家資格であり、美容師が、安全で良質なサービスを提供するためには「美と健康」に関する専門的な知識が必要とされる。そのため、国家試験の筆記にもこれに関連した出題がある。従って
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 授業プリントを使用し、重要事項は教科書にアンダーラインをひく。各章終了ごとに確認テストを行う。 授業の方法のみ

授業計画及び学習の内容

1	体表解剖 正中線、頸部、眼窩部、眼瞼、眉毛、睫毛、瞳孔、虹彩等	26	循環系 循環系のあらまし 心臓の構造 拍動
2	体表解剖 眼とその周辺について、(構造、分泌腺) 耳とその周辺(構造、特徴)	27	循環系 血管の構造 種類、血圧
3	体表解剖 鼻とその周辺(構造、特徴) 口とその周辺(構造、特徴)	28	循環系 血管と心臓の関係
4	骨格器系 骨の種類、骨の構造 骨の働き、(造血作用) 頭蓋 (鼻門 外後頭隆起 乳様突起)	29	循環器系 血液の種類 循環の仕組み(大循環、小循環)
5	骨格器系 骨の連結(結合、関節) 関節の構造 関節の種類	30	循環器系 血液の種類 循環の仕組み(門脈循環)
6	骨格器系 胸部(肋骨、胸骨 胸椎) 脊柱 上肢骨(鎖骨、肩甲骨)、下肢骨 手掌と足の骨	31	循環器系 リンパの仕組みと働き
7	筋系 筋の種類(骨格筋と心筋、平滑筋)と神経支配等 上肢の筋(三角筋、上腕二頭筋 上腕三頭筋)	32	呼吸器系 呼吸器系のあらまし 外呼吸、内呼吸
8	筋系 顔部(咀嚼筋、表情筋)の筋	33	呼吸器系 気道 喉頭 喉頭 気管 気管支
9	筋系 頸部の筋(胸鎖乳突筋、広頸筋) 体幹の筋(大胸筋、肋間筋、横隔膜、腹斜筋、)	34	呼吸器系 肺の仕組みとガス交換 呼吸運動 呼吸器量、肺活量
10	筋系 下肢の筋(大腿四頭筋、下腿三頭筋)	35	消化器系 消化器系のあらまし 消化管、消化腺
11	神経系 神経系の成り立ち 中枢神経と末梢神経	36	消化器系 口腔 唾液腺 食道、胃
12	神経系 脳と脊髄	37	消化器系 肝臓と膵臓
13	神経系 末梢神経(自律神経、体性神経)の働き 体性神経-知覚神経、運動神経	38	消化器系 消化管の働き(機械的消化と科学的消化) 咀嚼、嚥下、蠕動運動
14	神経系 末梢神経(自律神経-交感神経、副交感神経)の働き	39	後期学科試験対策 第6章~第9章
15	神経系 末梢神経(自律神経-交感神経、副交感神経)の働き	40	後期学科試験対策 第6章~第9章
16	感覚器系 感覚器(視覚、眼の構造 眼の働き)	41	後期学科試験解答・解説
17	感覚器系 感覚器(耳の構造、耳の働き)	42	国家試験対策 重要事項解説
18	感覚器系 感覚器(平衡感覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚)	43	国家試験対策 重要事項解説
19	前期学科試験対策 第1章~第5章	44	国家試験対策 重要事項解説
20	前期学科試験対策 第1章~第5章	45	国家試験対策 重要事項解説
21	前期学科試験解答・解説		
22	血液と免疫系 血液のあらまし		
23	血液と免疫系 血球成分の分類と働き		
24	血液と免疫系 血球成分の分類と働き		
25	血液と免疫系 免疫とアレルギー		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	美容技術理論	学年	2年
担当教員	倉川よし子 ・ 中村に美 ・ 八木美紀 ・ 高山知代美	学科	美容科	単位数(コマ数)	2.0単位(60コマ)
授業内容	技術にはその裏付けとなる理論が必要である。 理論を理解することで、技術が生きてくることを理解する。				
授業目標	美容師資格を取得するための基礎から学び理解する				
成績評価方法	成績評価は50点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 黒板に国家試験で重要な箇所や説明を板書しながら授業を進めていきます。教科書を読み、重要事項は教科書にアンダーラインをひく。各単元ごとに確認テストを行う。 授業の方法のみ				

授業計画及び学習の内容			
1	エステティク（肌質と種類・基本手技）	31	前期試験問題の解答・解説
2	エステティク（フェイシャルケア技術・マッサージ）	32	ヘアカッティング復習①
3	エステティク（フェイシャルパック・ボディケア）	33	ヘアカッティング復習② 復習練習問題
4	エステティク復習	34	ヘアカッティング復習③ 復習練習問題
5	エステティク・ネイル専攻確認テスト 4択問題	35	パーマネットウェーピング復習①
6	メイクアップ（用具の種類と消毒方法・スキンケア）	36	パーマネットウェーピング復習② 復習練習問題
7	メイクアップ（ベースメイク～ブラッシュアップ）	37	パーマネットウェーピング復習③ 復習練習問題
8	メイクアップ（アイブロウメイク）	38	ヘアセッティング復習①
9	メイクアップ（リップメイク～肌質一覧表）	39	ヘアセッティング復習② 復習練習問題
10	メイクアップ（まつ毛エクステンション）	40	ヘアセッティング復習③ 復習練習問題
11	メイクアップ復習	41	ヘアセッティング復習④ 復習練習問題
12	メイクアップ専攻確認テスト 4択問題	42	ヘアカラーリング復習② 復習練習問題
13	日本髪（日本髪の由来～種類と特徴）	43	ヘアカラーリング復習③ 復習練習問題
14	日本髪（頭巾～道具）	44	エステ・ネイル・まつエク復習①
15	日本髪（巻髪技術～手入れ） 日本髪専攻確認テスト 4択問題	45	エステ・ネイル・まつエク復習② 復習練習問題
16	着付けの理論と技術（着付けの目的～着物のいろいろ1）	46	エステ・ネイル・まつエク復習③ 復習練習問題
17	着付けの理論と技術（着付けの目的～着物のいろいろ2）	47	日本髪復習①
18	着付けの理論と技術（着付けの目的～着物のいろいろ3）	48	日本髪復習② 復習練習問題
19	着付けの理論と技術（帯・小物）	49	着付け復習①
20	着付けの理論と技術（各部の名称～簡易要領）	50	着付け復習② 復習練習問題
21	着付けの理論と技術（帯輪・帯輪技術）	51	着付け復習③ 復習練習問題
22	着付けの理論と技術（男子・袴・袴礼・ドレス）	52	理論Ⅰ総合練習問題
23	着付けの理論と技術専攻確認テスト 4択問題	53	理論Ⅱ総合練習問題
24	前期試験総復習（4択 総合問題）	54	後期試験総復習（4択 総合問題）
25	前期試験総復習（4択 総合問題）	55	後期試験総復習（4択 総合問題）
26	前期試験総復習（4択 総合問題）	56	後期試験総復習（4択 総合問題）
27	前期試験総復習（4択 総合問題）	57	後期試験総復習（4択 総合問題）
28	前期試験総復習（4択 総合問題）	58	後期試験総復習（4択 総合問題）
29	前期試験総復習（4択 総合問題）	59	後期試験総復習（4択 総合問題）
30	前期試験総復習（4択 総合問題）	60	後期試験問題の解答・解説

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	美容実習(WD)	学年	2年
担当教員	金川よし子 ・ 中村仁美 ・ 八木美紀 ・ 轟山知代美	学科	美容科	単位数(コマ数)	15.0単位(170コマ)
授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。				
授業目標	国家試験課題を理解し合格へと導く				
成績評価方法	成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合、単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室専で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	基本の振り返り	25	衛生も含めた時間内の安定
2	ブロッキングタイムアップ 早巻き	26	模擬試験
3	センターバランス強化	27	減点されない仕上がりを徹底的に強化する
4	ブロッキング～センターの連続した流れ	28	減点されない仕上がりを徹底的に強化する
5	ブロッキング～センター 仕上げりチェック	29	減点されない仕上がりを徹底的に強化する
6	フロントの収まり	30	試験準備
7	フロント強化 仕上げりチェック	31	前期実技試験
8	フロント～ネープの髪がり収まり	32	前期実技試験 総評・振り返り
9	右フロント～ネープの収まり強化	33	国家試験対策 タイム上げ
10	右側サイドまで強化	34	国家試験対策 タイム上げ
11	左フロント～ネープの収まり強化	35	国家試験対策 タイム上げ
12	左側サイドまで強化	36	国家試験対策 タイム上げ
13	左右の連続した流れ	37	国家試験対策 タイム上げ
14	バランスアップ	38	国家試験対策 タイム上げ
15	タイムを上げる	39	国家試験対策 タイム上げ
16	右BS～左サイドまで 仕上げりチェック	40	国家試験対策 タイム上げ
17	全体のバランスの見面し	41	国家試験対策 タイム上げ
18	全額に向けてタイムを上げる	42	国家試験対策 タイム上げ
19	時間配分をつかむ	43	国家試験対策 タイム上げ
20	時間配分をつかむ 弱点強化	44	国家試験対策 タイム上げ
21	時間配分を考える 弱点強化	45	国家試験対策 タイム上げ
22	時間配分を考える 弱点強化	46	国家試験対策 タイム上げ
23	全額のみ仕上げりチェック	47	国家試験対策 タイム上げ
24	衛生も含めた時間内の安定	48	ワインディングコンテスト

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	美容実習(CUT)	学年	2年
担当教員	金川よし子 ・ 中村仁美 ・ 八木美紀 ・ 島山知代美	学科	美容科	単位数(コマ数)	15.0単位(66コマ)
授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を実践に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。				
授業目標	国家試験課題を理解し合格へと導く				
成績評価方法	成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合、単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って難かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	課題について ブロッキング・フェイスライン		
2	ブロッキング・フェイスライン		
3	トップ～サイド		
4	耳前までの連続した流れ		
5	耳前までの連続した流れ		
6	耳前までの連続した流れ 仕上がり確認		
7	ヘムライン後ろ側・第1ブロック		
8	ヘムライン後ろ側・第1ブロック		
9	第2ブロック		
10	第2ブロック		
11	耳前までの連続した流れ		
12	耳前までの連続した流れ 仕上がり確認		
13	全頭通し		
14	全頭通し		
15	全頭通し 仕上がりチェック		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	美容実習(国家試験対策)	学年	2年
担当教員	金川よし子 ・ 中村仁美 ・ 八木美紀 ・ 畠山知代美	学科	美容科	単位数(コマ数)	15.0単位(119コマ)

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を得得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
授業目標	国家試験課題を理解し合格へと導く
成績評価方法	成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合、単位を認める。 実技60点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容

1	国家試験対策		
2	国家試験対策		
3	国家試験対策		
4	国家試験対策		
5	国家試験対策		
6	国家試験対策		
7	国家試験対策		
8	国家試験対策		
9	国家試験対策		
10	国家試験対策		
11	国家試験対策		
12	国家試験対策		
13	国家試験対策		
14	国家試験対策		
15	国家試験対策		
16	国家試験対策		
17	国家試験対策		
18	国家試験対策		
19	国家試験対策		
20	国家試験対策		
21	国家試験対策		
22	国家試験対策		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	美容実習(その他)	学年	2年
担当教員	金川よし子 ・ 中村仁美 ・ 八木美紀 ・ 島山知代美	学科	美容科	単位数(コマ数)	15.0単位(78コマ)
授業内容	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。				
授業目標	美容の技術を通じて美への探求心を成長させる。 流行を取り入れ、ヘア・メイク・ファッション・音楽を融合させた、トータルで演出できる表現者を目指す。				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	ヘアショー準備		
2	ヘアショー準備		
3	ヘアショー準備		
4	ヘアショー準備		
5	ヘアショー準備		
6	ヘアショー準備		
7	ヘアショー準備		
8	ヘアショー準備		
9	ヘアショー準備		
10	ヘアショー準備		
11	ヘアショー準備		
12	ヘアショー準備		
13	ヘアショー準備		
14	コンテスト準備		
15	コンテスト準備		
16	コンテスト準備		
17	コンテスト準備		
18	コンテスト		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ヘアケア	学年	2年
担当教員	金川よし子 ・ 中村仁美 ・ 峯岸由佳	学科	美容科	単位数(コマ数)	2.0単位(60コマ)

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を得得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
授業目標	シャンプーの手技を学ぶ 気持ちの良いシャンプーを心掛ける
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	サイドシャンプー	16	ヘッドスパ
2	リアシャンプー	17	トリートメント
3	サイドシャンプー・リアシャンプー	18	トリートメント
4	サイドシャンプー・リアシャンプー	19	トリートメント
5	サイドシャンプー・リアシャンプー	20	トリートメント
6	サイドシャンプー・リアシャンプー		
7	サイドシャンプー・リアシャンプー		
8	サイドシャンプー・リアシャンプー		
9	サイドシャンプー・リアシャンプー		
10	サイドシャンプー・リアシャンプー		
11	サイドシャンプー・リアシャンプー		
12	サイドシャンプー・リアシャンプー		
13	サイドシャンプー・リアシャンプー		
14	サイドシャンプー・リアシャンプー		
15	ヘッドスパ		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	コンプリート	学年	2年
担当教員	金川よし子 ・ 中村仁美 ・ 釜岸由佳 ・ 八木美紀 ・ 島山知代美	学科	美容科	単位数(コマ数)	6.0単位(183コマ)
授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。 国家試験に向けた学科対策				
授業目標	国家試験合格のためレベルアップ				
成績評価方法	【実習】 成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				

授業計画及び学習の内容			
1	国家試験対策	21	国家試験対策
2	国家試験対策	22	国家試験対策
3	国家試験対策	23	国家試験対策
4	国家試験対策	24	国家試験対策
5	国家試験対策	25	国家試験対策
6	国家試験対策	26	国家試験対策
7	国家試験対策	27	国家試験対策
8	国家試験対策	28	国家試験対策
9	国家試験対策	29	国家試験対策
10	国家試験対策	30	国家試験対策
11	国家試験対策	31	国家試験対策
12	国家試験対策	32	国家試験対策
13	国家試験対策	33	国家試験対策
14	国家試験対策	34	国家試験対策
15	国家試験対策	35	国家試験対策
16	国家試験対策	36	国家試験対策
17	国家試験対策	37	国家試験対策
18	国家試験対策	38	国家試験対策
19	国家試験対策	39	国家試験対策
20	国家試験対策		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティ (キャリアデザイン)	学年	2年
担当教員	金川よし子 ・ 中村仁美 ・ 峯岸由佳	学科	美容科	単位数(コマ数)	2.0単位(36コマ)

授業内容	現場での美容の働き方、携わり方を学ばせる。 専門職としての働き方の知識や将来の夢、なりたい職業について考えさせ、卒業してからのビジョンを見つける。
授業目標	将来の夢に向かっての一步を歩むために、就職活動に必要なスキルを身につけさせる。 授業を通じて、社会に必要な人間力をアップさせる。 社会で働くことの心構えを身につけさせる。
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 実践・グループディスカッションをしながら、聞いたこと、気づいたこと、感じたことをメモしながら進める。 担当教員は、美容室等で現場の実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	志望サロンについて調べる	10	・ドリームフェスティバル準備
2	志望理由を考える	11	・ドリームフェスティバルfinal
3	自分を伝える方法を考える 自己PR・学生時代に力を入れたことについて考える 面接でよく聞かれる質問事項の回答を考えてみる		
4	面接練習大会① 基本編		
5	面接練習大会② 応用編1		
6	面接練習大会② 応用編2		
7	・就職活動の振り返り		
8	・ドリームフェスティバル準備		
9	・ドリームフェスティバル準備		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティ (カット・カラーコース)	学年	2年
担当教員	峯岸由佳	学科	美容科	単位数(コマ数)	2.0単位(60コマ)

授業内容	基本的技術をさらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。
授業目標	プロからの技術を学ぶ カット・カラーリング、撮影の技術を学ぶ パーソナルカラー検定の取得を目指す
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って描かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で現場の実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	カット・カラー、パーソナルカラー	11	コンテスト準備
2	カット・カラー、パーソナルカラー	12	コンテスト準備 ・ コンテスト
3	カット・カラー、パーソナルカラー		
4	カット・カラー、パーソナルカラー		
5	パーソナルカラー		
6	カット・カラー、パーソナルカラー		
7	カット・カラー、パーソナルカラー		
8	パーソナルカラー検定		
9	コンテスト準備		
10	コンテスト準備		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティ (プロメイクコース)	学年	2年
担当教員	金川よし子 ・ 畠山知代美	学科	美容科	単位数(コマ数)	2.0単位(60コマ)

授業内容	<p>基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。</p> <p>常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。</p>
授業目標	<p>プロからの技術を学ぶ</p> <p>メイクの応用から特殊メイクの技術を学ぶ</p> <p>カット・スタイリング、撮影技術を学ぶ</p> <p>化粧品検定の取得を目指す</p>
成績評価方法	<p>・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10%</p> <p style="padding-left: 20px;">=56点+7点+10点</p> <p style="padding-left: 20px;">=73点（成績点）</p>
授業の方法 及び 講師紹介	<p>【実習】</p> <p>実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。</p> <p>担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。</p>

授業計画及び学習の内容			
1	顔タイプ診断、化粧品検定2級対策	11	特殊メイク
2	顔タイプ診断、化粧品検定2級対策	12	特殊メイク
3	化粧品検定2級対策		
4	化粧品検定2級対策		
5	化粧品検定2級対策		
6	化粧品検定2級受験		
7	トレンドメイク		
8	トレンドメイク 撮影術		
9	トレンドメイク 撮影術		
10	特殊メイク		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティ (着付けコース)	学年	2年
担当教員	金川よし子 ・ 畠山知代美	学科	美容科	単位数(コマ数)	2.0単位(60コマ)

授業内容	<p>基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。</p>
授業目標	<p>プロからの技術を学ぶ 浴衣・袴・小紋・振袖の技術、着物に合わせたヘアメイクを学ぶ</p>
成績評価方法	<p>・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% = 56点+7点+10点 = 73点 (成績点)</p>
授業の方法 及び 講師紹介	<p>【実習】 実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。</p>

授業計画及び学習の内容			
1	浴衣	11	振袖
2	浴衣	12	振袖 撮影
3	浴衣、撮影		
4	袴		
5	袴		
6	浅草散策		
7	小紋		
8	小紋		
9	振袖		
10	振袖		

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティ (韓国ビューティコース)	学年	2年
担当教員	中村仁美	学科	美容科	単位数(コマ数)	2.0単位(60コマ)

授業内容	<p>基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。</p>
授業目標	<p>プロからの技術を学ぶ 韓国で流行しているヘアスタイル・ヘアメイク、 TOPIK3級取得を目指し韓国語を学ぶ。</p>
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)</p>
授業の方法 及び 講師紹介	<p>【実習】 実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。</p>

授業計画及び学習の内容					
1	韓国語 カット	11	韓国語 メイク		ヘア
2	韓国語 カラー	12	韓国語 メイク		ヘア
3	ヘアセット				
4	メンズヘアメイク				
5	韓国語				
6	韓国語 カット				
7	韓国語 パーマネットウェーブ				
8	ヘアセット				
9	韓国語				
10	韓国語 TOPIK上級検定				

2026年度シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティ (アイデザインコース)	学年	2年
担当教員	八木美紀	学科	美容科	単位数(コマ数)	2.0単位(60コマ)

授業内容	<p>基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。</p> <p>常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。</p>
授業目標	<p>プロからの技術を学ぶ</p> <p>まつ毛エクステンション、まつ毛パーマ、アイブロウ、SNS活用撮影技術、顔タイプ診断を通じてアイデザインを学ぶ。</p>
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10%</p> <p style="padding-left: 20px;">= 56点+7点+10点</p> <p style="padding-left: 20px;">= 73点（成績点）</p>
授業の方法 及び 講師紹介	<p>【実習】</p> <p>実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。</p> <p>担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。</p>

授業計画及び学習の内容			
1	まつ毛エクステンション タイプ診断	顔	11
			アイブロウ まつ毛エクステンション
2	まつ毛エクステンション タイプ診断	顔	12
			アイブロウ まつ毛エクステンション
3	アイブロウ		
4	まつ毛パーマ		
5	まつ毛パーマ		
6	SNS活用撮影技術 アイブロウ		
7	アイブロウ まつ毛エクステンション		
8	アイブロウ まつ毛エクステンション		
9	アイブロウ まつ毛エクステンション		
10	アイブロウ まつ毛エクステンション		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティ－Ⅰ (エステ基礎)	学年	1年
担当教員	森田 光子・黒羽 明美	学科	トータルビューティ－科	時間数	11単位 (78コマ)
授業内容	(一般社団法人)日本エステティック協会が定める認定講師、カリキュラム、施設、設備に基づき、 エステティックに関するフェイシャルの基礎知識・技術を理解し実践する能力を身につける				
授業目標	(一般社団法人)日本エステティック協会のAjesthe認定フェイシャルエステティシアンの資格取得 エステティックの知識と技術の習得				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	実習ルール・掃除分担・教材確認・エステティックとは/実技理論/クレンジングDVD	16			
2	理論/ベットのワゴンセッティング/ターバンクレンジング	17			
3	フェイシャルエステティックの基礎/クレンジング	18			
4	理論/カウンセリング～ご誘導～クレンジング～仕上げ	19			
5	理論/ご誘導～マッサージ～仕上げ	20			
6	WAX①～③理論:教室/④～⑥実技:305	21			
7	理論・ご誘導～ディープクレンジング① (粒子あり・無し)～マッサージ	22			
8	理論・ご誘導～ディープクレンジング② (酵素・キッシング)～(マッサージ)	23			
9	WAX脱毛	24			
10	理論・ご誘導～ディープクレンジング③ (フリマトール)～マッサージ	25			
11	理論/カウンセリング～ご誘導～クレンジング～ディープ～バック～仕上げ	26			
12	理論/カウンセリング～ご誘導～クレンジング～マッサージ～バック～仕上げ	27			
13	理論/ハンドマッサージ/パラフィンバック/対策問題	28			
14	認定フェイシャル試験	29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティール (ネイル基礎)	学年	1年
担当教員	高田 雅恵・石川 絵美	学科	トータルビューティール科	時間数	11単位(144コマ)
授業内容	JNAテクニカルシステムに沿ってネイル基礎理論・ネイルケアを学びネイリスト検定3級取得を目指す。				
授業目標	ネイリスト検定3級取得				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	道具の配布、セッティングについて	16	授業後追試/3級試験仕込み		
2	学科(ネイルの歴史、技術体系、爪の構造)ケア手順	17	7限目は筆記試験対策、ケアカラーおさらい		
3	カラーリングについて、デモ、実践	18	アート ツイード、チェック		
4	アートについて、デモ、実践	19	チップ装着、カラーリング		
5	相モデルネイリスト検定3級対策 通し練習	20	アート作品作り ハロウィン		
6	相モデルネイリスト検定3級対策 通し練習	21	チップ装着、カラーリング		
7	相モデルネイリスト検定3級対策 タイムトライアル	22	チップ装着、カラーリング		
8	相モデルネイリスト検定3級対策 タイムトライアル	23	アート作品作り クリスマス		
9	相モデルネイリスト検定3級対策 タイムトライアル	24			
10	相モデルネイリスト検定3級対策 3級模擬試験	25			
11	相モデルネイリスト検定3級対策 タイムトライアル	26			
12	相モデルネイリスト検定3級対策 タイムトライアル	27			
13	前期試験 仕込み	28			
14	前期実技試験	29			
15	授業後補講/通し練習	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティーI (メイク基礎)	学年	1年
担当教員	株式会社MEDUSA 渡邊菜穂 山口快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	11単位 (133コマ)
授業内容	クレンジングからフルメイクまで、メイクアップの基礎を習得する				
授業目標	<p>メイク技術の基本となる立体・グラデーション・カラーバランス・質感を理解し、設定された時間内でメイクアップを施せるスキル習得を目標とする。</p> <p>基本を軸にナチュラルメイク、イメージメイクなどモデルに合わせたメイク技術を習得する。TSBSメイクディプロマプライマリー試験の合格を目指す。</p> <p>スキンケア・ベースメイク・ポイントメイクスキル・フルメイク基礎の総仕上げを行う。また、顔型別のメイク技術・印象別メイク技術やメイクの応用技術を習得する。撮影等も行い、メイクスキル基礎の習得を目標とする。</p>				
成績評価方法	<p>試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。</p> <p>69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習</p> <p>担当教員は、メイクアップアーティスト・化粧品会社等での実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	道具の名称、メンテナンスセッティング 基本のスキンケア	16			
2	基本のスキンケア 基本ベースメイク (下地、コンシーラー、ファンデーション、パウダー)	17			
3	基本ベースメイク復習	18			
4	ベースメイク～アイシャドウ (アイカラー) / アイブロウ	19			
5	ベースメイク～アイライン / マスカラ	20			
6	アイメイク総仕上げ	21			
7	ポイントメイク (リップ / チーク)	22			
8	フルメイク総仕上げ	23			
9	フルメイク総仕上げ	24			
10	メイク診断 / パーソナル別メイク	25			
11	プロポーション別メイク	26			
12	プライマリー試験の試験対策	27			
13	メイクプライマリー試験実施	28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティーⅡ (トータルメイク)	学年	1年
担当教員		学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(122コマ)
授業内容	肌質別やプロポーション、パーソナル別のスキンケアとメイク技術を習得する。				
授業目標	様々な肌質による最適なスキンケア方法やファンデーションのあり方、 一重・二重・奥二重など様々な目元に最適なアイメイク手法、 顔型・目元・唇のプロポーション別による手法など、パーソナル別に対応できるメイクの技術を習得する。 BAとしての基本を知る。 「メイクアドバンス」の修得。 写真に映えるアングルを学ぶ。				
成績評価方法	"試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。"				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、メイクアップアーティスト・化粧品会社等での実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	【BAになる為の実習】	16			
2	BAについて学ぶ(現役BAによる)	17			
3	【メイクアドバンス】	18			
4	【シャープなメイク】 〈ベースメイク〉 立体感：シャドー、ハイライトを駆使してシャープなベースに整える。	19			
5	〈アイメイク〉 切れ長な目元を作る(アイシャドー・アイライン・マスカラ)	20			
6	〈チーク〉 骨格を強調したシャープなチーク(シェーディングの活かし方)	21			
7	全体仕上げ	22			
8	【ソフトな(丸みのある)メイク】 〈ベメイク〉 立体感：シャドー、ハイライトをベースの段階から付け、丸みのある顔を作る	23			
9	〈アイメイク〉 丸みのあるタレ目を作る(アイシャドー・アイライン、マスカラ)	24			
10	〈チーク〉 丸みを出す入れ方	25			
11	全体仕上げ	26			
12	【シャープなメイク】試験	27			
13	【ソフトな(丸みのある)メイク】試験	28			
14	【写真撮影を意識したメイクを学ぶ】 写真の撮り方、アングルを学ぶ(プロのカメラマンに学ぶ)	29			
15	【写真撮影を意識したメイクを学ぶ】 実際に自撮りをする	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	トータルビューティーII (トータルネイル)	学年	1年
担当教員	石川 絵美・小川 いずみ	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(122コマ)
授業内容	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～に沿ってジェルネイル基礎理論・ジェルネイル技術を学び、ジェルネイル技能検定初級取得を目指す。				
授業目標	ジェルネイル検定初級取得				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	教材配布/セッティング	16	授業後補講/部分練習		
2	ケアカラー/ジェル塗り方/アート	17	部分練習		
3	通し練習	18	通し練習		
4	通し練習	19	通し練習		
5	相モデル ジェル検定初級対策 タイムトライアル	20	2級模擬試験		
6	相モデル ジェル検定初級対策 部分練習/試験仕込み	21	部分練習		
7	ジェル初級実技試験	22	タイムトライアル		
8	セッティング、チップラップ	23	タイムトライアル		
9	ケアカラー/チップラップ/アート	24			
10	部分練習	25			
11	通し練習	26			
12	通し練習	27			
13	タイムトライアル	28			
14	タイムトライアル/仕込み	29			
15	後期実技試験	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (衛生)	学年	1年
担当教員	佐藤 順子	学科	トータルビューティー科	時間数	8単位(7コマ)
授業内容	<p>お客様に常に最高のサービスを提供できるよう、自身の心身の健康に留意すると共に常に公衆衛生の向上を心がける必要がある。</p> <p>そこで、公衆衛生・衛生管理について学ぶ。</p> <p>衛生の授業で伝える内容は、「財団法人日本エステティック研究財団」発行の「エステティック業務に関する衛生措置の適正化基準」がガイドラインとなっている。</p>				
授業目標	<p>メイク、ネイル、エステティックは、お客様の肌や身体に直接触れて施術を行うため、常に衛生基準の順守に努めなければなりません。</p> <p>また、お客様の心身の健康維持、増進に貢献するためにも衛生管理は最も大切な義務である。</p> <p>安全で安心なサービス実践の為に公衆衛生の意義を学び、お客様に提供する快適な環境とは具体的にどのようなものであるかと考え、実践していくことを目的とする。</p> <p>私たちの健康状態は、季節や風土、住環境、外的環境、加齢による変化に伴って、微生物に対する感受性や免疫力の変化が現れる。</p> <p>皮膚の常在菌や病原微生物、細菌、ウイルスなどについて正しい知識を学び、消毒の具体的な方法と消毒剤の特徴と使用法の習得を目標とする。</p>				
成績評価方法	<p>試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。</p> <p>69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義</p> <p>サロンでの経験と認定講師として長年に渡り講義を行っている</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	衛生管理の考え方	16			
2	感染症について	17			
3	感染経路について/正しい手洗いの方法	18			
4	消毒方法について/器具、備品の洗浄消毒の手順	19			
5	エステティックの衛生基準	20			
6	まとめ	21			
7	衛生筆記試験	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (栄養)	学年	1年
担当教員	黒羽 明美	学科	トータルビューティー科	時間数	8単位 (19コマ)
授業内容	栄養学の基礎知識・健康と栄養・サプリメント・食品添加物				
授業目標	人と食物との関係を科学的に明らかにし、食生活を通して人の健康の維持・増進を図ることを目的とし、人間の栄養問題、特に栄養素の必要量、食品成分、食料と健康などの広範な分野を取り扱い、摂取した食物の消化吸収について理解するとともに、各種栄養素の栄養学的意義と働きを学びます。さらに健康と美容と食品についても学んでいきます。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 サロンでの経験と認定講師として長年に渡り講義を行っている				
授業計画及び学習の内容					
1	食べ物が栄養になるまで・タンパク質	16			
2	脂質・炭水化物・ミネラル	17			
3	ビタミン・基礎代謝とエネルギー	18			
4	食事バランス・美容と栄養・ビタミン	19			
5	前期まとめ問題	20			
6	前期試験解答解説	21			
7	認定フェイシャル対策	22			
8	栄養と腸	23			
9	栄養学まとめ問題	24			
10	栄養学まとめ問題解答解説	25			
11	後期試験解答解説	26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (解剖生理学)	学年	1年
担当教員	黒羽 明美	学科	トータルビューティー科	時間数	8単位 (39コマ)
授業内容	身体の基本・骨格系、筋系・神経系・感覚・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系・泌尿器系・生殖器・運動生理学について学ぶ				
授業目標	人を施術する際、人の身体に触れ筋肉やリンパ節も正確な位置を確かめ心身の様々な反応を確認しながら施術方法を調整できるように常に身体の「はたらき」と「つくり」を解剖生理学として学んでいく。同時に、運動するにあたっての身体の動きを学ぶ。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 サロンでの経験と認定講師として長年に渡り講義を行っている				
授業計画及び学習の内容					
1	生命の誕生の歴史・ホメオスタシスとは	16	ホメオスタシス・身体の仕組みと働きまとめ		
2	自律神経系	17	認定フェイシャル対策		
3	免疫系・ストレスの定義	18	身体の働き知識		
4	ストレス学説・ストレスと大脳、ホメオスタシス、エステティック	19	ホメオスタシス・身体の仕組みと働き復習		
5	身体の構成・組織・血液	20	後期試験範囲問題		
6	器官系・骨格系	21	後期試験問題解答解説		
7	筋系・神経細胞	22			
8	中枢神経・末梢神経	23			
9	感覚・循環器系(血液循環)	24			
10	循環器系(リンパ系)	25			
11	身体の働き知識・問題	26			
12	前期試験範囲まとめ・問題	27			
13	前期試験解答解説	28			
14	消化器系・泌尿器系・呼吸器系	29			
15	内分泌系・生殖器系	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (皮膚)	学年	1年
担当教員	黒羽 明美	学科	トータルビューティー科	時間数	8単位 (30コマ)
授業内容	皮膚とスキンケアの関係を、「1. 皮膚の基本知識」、「2. 美容上大切な皮膚の6つの働き」、「3. 肌の美しさを損ねる要因」、「4. さまざまな肌状態」、「5. 肌と環境」、「6. 肌分析」の6視点から学ぶ。				
授業目標	皮膚は私たちの身体を守るバリアとして、体表全体に亘る最大の臓器である。紫外線や乾燥などの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしている。一方、皮膚自身のもつ見た目や触ったときの感触は人の美しさや健康度を表現するうえで重要な要素となっている。皮膚はまさに美と健康を守るバリアであると同時にその美しさを映し出す鏡でもある、つまり皮膚は「強く美しいバリア」の必要性がある。この皮膚の働きとしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケア方法を学ぶことを目的とする。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 サロンでの経験と認定講師として長年に渡り講義を行っている				
授業計画及び学習の内容					
1	皮膚の全体図	16			
2	皮膚の役割・表皮・真皮・皮下組織	17			
3	皮脂膜・角質層バリア・表皮ターンオーバー・メラノサイトの働き	18			
4	毛細血管・線維芽細胞の働き・肌タイプ	19			
5	衰えた肌・色素沈着	20			
6	ニキビ・吹き出物・季節肌	21			
7	前期試験範囲練習問題	22			
8	前期試験解答解説	23			
9	加齢・光老化・女性ホルモンと肌への影響	24			
10	ストレスと肌への影響・肌荒れと敏感肌・皮膚疾患	25			
11	皮膚の仕組みと働き I 問題	26			
12	認定フェイシャル対策	27			
13	皮膚の仕組みと働き I・II 復習	28			
14	後期試験範囲問題	29			
15	後期試験解答解説	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (化粧品学)	学年	1年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	8単位 (15コマ)
授業内容	化粧品概論・フェイシャル化粧品・ボディ化粧品・メイクアップ化粧品 ネイル化粧品・ヘアケア化粧品・フレグランス 化粧品の原料・化粧品に用いられる薬剤とその働き				
授業目標	化粧品基材の保水効果やオイルシール効果などを把握することで肌の適合性を高める為、化粧品の法律上の取り扱いや分類、取り扱い上の留意点、そして化粧品の目的と機能、使用する主な原料を学ぶ。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 サロンでの経験と知識と経験を活かし分かり易く講義する				
授業内容及び学習の内容					
1	化粧品概論①	16			
2	化粧品概論②	17			
3	化粧品概論③	18			
4	化粧品の原料①	19			
5	化粧品の原料②	20			
6	化粧品の原料③	21			
7	化粧品に用いられる薬剤とその働き①	22			
8	化粧品に用いられる薬剤とその働き②	23			
9	化粧品に用いられる薬剤とその働き③	24			
10	化粧品に用いられる薬剤とその働き①	25			
11	化粧品に用いられる薬剤とその働き②	26			
12	ボディ化粧品①	27			
13	ボディ化粧品②	28			
14	まとめ	29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (ネイル学科)	学年	1年
担当教員	石川 絵美	学科	トータルビューティー科	時間数	8単位 (22コマ)
授業内容	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～に沿ってジェルネイル、ネイルケアに関する理論的知識の習得。				
授業目標	ジェルネイル技能検定初級筆記試験合格、ネイルに関する理論的知識の習得を目的とする。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	ジェル検定学科	16			
2	ジェル検定模擬	17			
3	ジェル初級学科試験	18			
4	後期筆記試験	19			
5	2級学科	20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティサイエンス (メイク学科)	学年	1年
担当教員		学科	トータルビューティ科	時間数	8単位 (22コマ)
授業内容	美容部員として必要な能力、知識の習得				
授業目標	化粧品学の知識・接客販売の知識を学ぶ。 学んだ知識を活かした接客ロープレを行い、美容部員としての能力を身に付ける。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、メイクアップアーティスト・化粧品会社等での実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	皮膚理論	16			
2	化粧品ブランドについて	17			
3	化粧品学	18			
4	接客販売	19			
5	肌悩みと解決策	20			
6	接客について	21			
7	接客ロールプレイング	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (就職)	学年	1年
担当教員	渡邊菜穂	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位 (12コマ)
授業内容	<p>ビジネスマナーの重要性を確認し社会人としての品位向上を図る基礎を学び「社会人」としての自覚を促すことで、立ち居振る舞いの学習と意識向上を目指す。 社会人としての基本的スキルであるビジネスマナーを身に付け、「学生」から「社会人・組織人」への意識変革への知識・行動変容を行う。 また、美容接客サービス業に就くうえでの就職対策も行う。</p>				
授業目標	<p>女性の美しさは、容姿だけではなく、その挙措に大きく左右される。 素晴らしい笑顔は勿論のこと、優雅で落ち着いた立ち居振る舞いを身に付けることで、お客様に快い印象と安心感を与える。 常に相手の立場にたったサービスを提供し、やすらぎと満足を与える中で信頼関係を構築するためには、優れた技術と正確な理論の上に、正しいマナー・ホスピタリティマインドを体得することが重要であることから、基本からサロンワークにいたるまでの接客マナーを習得する。 サービス接客検定3級合格を目標とする。</p>				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義 担当教員はビジネス検定や接客等の指導、教育を永年致しており、分かり易く指導する</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	サービススタッフの資質① お辞儀 必要とされる要件	16			
2	サービススタッフの資質② 身だしなみの基本 従業要件	17			
3	専門知識 サービス知識、商業用語、経済用語	18			
4	一般知識 社会常識	19			
5	対人技能① 人間関係・接客知識	20			
6	検定対策	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (就職)	学年	1年
担当教員	渡邊菜穂	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位 (37コマ)
授業内容	<p>ビジネスマナーの重要性を確認し社会人としての品位向上を図る基礎を学び「社会人」としての自覚を促すことで、立ち居振る舞いの学習と意識向上を目指す。 社会人としての基本的スキルであるビジネスマナーを身に付け、「学生」から「社会人・組織人」への意識変革への知識・行動変容を行う。 また、美容接客サービス業に就くうえでの就職対策も行う。</p>				
授業目標	<p>女性の美しさは、容姿だけではなく、その挙措に大きく左右される。 素晴らしい笑顔は勿論のこと、優雅で落ち着いた立ち居振る舞いを身に付けることで、お客様に快い印象と安心感を与える。 常に相手の立場にたったサービスを提供し、やすらぎと満足を与える中で信頼関係を構築するためには、優れた技術と正確な理論の上に、正しいマナーホスピタリティマインドを体得することが重要であることから、基本からサロンワークにいたるまでの接客マナーを習得する。就職活動として企業説明会を開催する</p>				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>企業説明・講義 担当教員は永年教育に携わり、業界についてのアドバイスを行う事が出来る</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	コース分けガイダンス	16			
2	企業説明会①	17			
3	企業説明会②	18			
4	プロから学ぶ(体験授業)	19			
5	就職活動(自己分析)	20			
6	就職活動(エントリーシート作成について)	21			
7	就職活動(面接対策)	22			
8	就職活動ガイダンス	23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (マナー)	学年	1年
担当教員	松岡 麻耶	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(21コマ)
授業内容	<p>ビジネスマナーの重要性を確認し社会人としての高次元を固める基礎を学び「社会人」としての自覚を促すことで、立ち居振る舞いの学習と意識向上を目指す。 社会人としての基本的スキルであるビジネスマナーを身に付け、「学生」から「社会人・組織人」への意識変革への知識・行動変容を行う。 また、美容接客サービス業に就くうえでの就職対策も行う。</p>				
授業目標	<p>女性の美しさは、容姿だけではなく、その挙措に大きく左右される。 素晴らしい笑顔は勿論のこと、優雅で落ち着いた立ち居振る舞いを身に付けることで、お客様に快い印象と安心感を与える。 常に相手の立場にたったサービスを提供し、やすらぎと満足を与える中で信頼関係を構築するためには、優れた技術と正確な理論の上に、正しいマナーホスピタリティマインドを体得することが重要であることから、基本からサロンワークにいたるまでの接客マナーを習得する。 サービス接客検定3級合格を目標とする。</p>				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義 担当教員はビジネス検定や接客等の指導、教育を永年致しており、分かり易く指導する</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	キャリアデザイン① 接客とマナー	16			
2	キャリアデザイン② 仕事の基本/接客マナー	17			
3	キャリアデザイン⑥ コミュニケーション基礎研修	18			
4	キャリアデザイン⑦ モチベーションアップ研修	19			
5	キャリアデザイン⑧ キャリアデザイン	20			
6	キャリアデザイン⑩ ホスピタリティ研修	21			
7	キャリアデザイン⑪ 就活に向けて	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (アレンジ)	学年	1年
担当教員	ALBUM 渡邊菜穂	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位 (20コマ)
授業内容	美しさの基本となる、様々な分野の基礎を学び、美容家としての意識を養うと共に、技術の向上、チャレンジ精神、ホスピタリティマインドの意識の向上、育成を目指す				
授業目標	ヘアという3次元のものを、美しく見せるテクニック、技術を習得し、基本的なアレンジのパターンを学ぶ				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習</p> <p>担当教員は、美容室での実務経験があり、長年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	授業説明/道具の説明/ベース作り	16			
2	ハーフアップ基礎	17			
3	編みおろし	18			
4	タイトシニヨン (仕事用)	19			
5	シニヨン (お呼ばれセット)	20			
6	フルアップ	21			
7	特殊ヘア/総まとめ	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (リフレ)	学年	1年
担当教員	佐藤 順子	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位 (33コマ)
授業内容	<リフレクソロジー>主に足裏の特定部位を押せば体の特定部位に変化が起こるという考えに基づき、疲労の改善などを図る。				
授業目標	多種多様な美容技術を習得し興味を持たせる				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実技 サロンでの経験と認定講師として長年に渡り講義を行っている				
授業計画及び学習の内容					
1	リフレ理論／リフレ実技 (足のトラブル)	16			
2	リフレ理論／リフレ実技 (リフレクソロジー)	17			
3	リフレ理論／リフレ実技 (リフレクソロジー)	18			
4	リフレ理論／リフレ実技 (リフレクソロジー)	19			
5	リフレ理論／リフレ実技 (リフレクソロジー)	20			
6	リフレ試験対策	21			
7	実技・筆記試験	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (ヨガ)	学年	1年
担当教員	松野 華織	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位 (18コマ)
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	エステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 人体の構成（筋肉・骨格系） 姿勢やホームケアの運動の実践のアドバイスに生かす				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、yogaのインストラクターであり永年の経験や知識により、分かり易い授業展開を行う				
授業計画及び学習の内容					
1	産学 ヨガ哲学	16			
2	基本ポーズ	17			
3	太陽礼拝	18			
4	フィットネス 体づくり	19			
5	Flow ヨガ	20			
6	アドバンスポーズ	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (アウトプットプログラム)	学年	1年
担当教員	渡邊菜穂	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位(22コマ)
授業内容	SNSマーケティングの基礎知識の習得及び撮影時術の向上(写真・動画)				
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS基礎(セキュリティ、ルール) ・実際にモデルのヘアメイクを行い撮影 				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介					
授業計画及び学習の内容					
1	SNS導入	16			
2	撮影のやり方	17			
3	作品作りと撮影	18			
4	動画を発表する	19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (デッサン)	学年	1年
担当教員	渡邊菜穂	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位 (10コマ)
授業内容	物体に対しての観察力を身につけ立体物の表現力を習得する				
授業目標	①明暗をきれいにつける技術習得 ②立体感(骨格)をつかむ力を養う				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	紙コップやスプーンなどを使用し、スケッチブックにデッサンを行う 担当教員はWeb制作をメインにフリーランスとして活躍されている方。芸術系の専門学校やプログラミング教室の講師などで活躍されている。				
授業計画及び学習の内容					
1	オリエンテーションと基礎演習	16			
2	デッサンの説明とデッサン実技-1	17			
3	デッサン実技-2	18			
4	デッサン実技-3	19			
5	講評・授業のまとめ	20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティ－リレーション	学年	1年
担当教員	渡邊菜穂	学科	トータルビューティ－科	時間数	4単位（161コマ）
授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。				
授業目標	学校や社会のルールの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、永年に渡り学生指導、企画、運営に多方面より携わり学生に対し真摯に取り組まれている				
授業計画及び学習の内容					
1	入学式	16	始業式		
2	オリエンテーション	17	大掃除		
3	校外学習	18	ボランティア		
4	OGからの話	19			
5	授業参観	20			
6	サービス接遇検定	21			
7	校内コンテスト	22			
8	前期実技試験	23			
9	前期学科試験	24			
10	前夜祭	25			
11	学園祭	26			
12	ネイリスト検定試験	27			
13	認定フェイシャル試験	28			
14	後期実技試験	29			
15	後期学科試験	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (外部モデル)	学年	2年
担当教員	森田 光子・岡田 紀江	学科	トータルビューティー科	時間数	13単位(105コマ)
授業内容	<p>真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する</p>				
授業目標	<p>一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。</p>				
成績評価方法	<p>試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	16	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策		
2	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	17	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策		
3	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	18			
4	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	19			
5	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	20			
6	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	21			
7	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	22			
8	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	23			
9	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	24			
10	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	25			
11	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	26			
12	外部モデル実践 (フェイシャル・ボディ)	27			
13	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策	28			
14	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策	29			
15	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (サロン)	学年	2年
担当教員	森田光子・水本優美	学科	トータルビューティー科	時間数	13単位(37コマ)
授業内容	<p>真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する</p>				
授業目標	<p>エステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。</p>				
成績評価方法	<p>指定の出席率を上回った場合単位を認める。</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	スチューデントサロン〈フェイシャル・ボディ〉	16			
2	スチューデントサロン〈フェイシャル・ボディ〉	17			
3	スチューデントサロン〈フェイシャル・ボディ〉	18			
4	スチューデントサロン〈フェイシャル・ボディ〉	19			
5	スチューデントサロン〈フェイシャル・ボディ〉	20			
6	スチューデントサロン〈フェイシャル・ボディ〉	21			
7	スチューデントサロン〈フェイシャル・ボディ〉	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (アウトプットプログラム)	学年	2年
担当教員	フジシン様・水本優美	学科	トータルビューティー科	時間数	13単位(18コマ)
授業内容	SNSの特性を知り、スチューデントサロンで集客するための企画をたてる。SNSを活用し集客に繋げるための知識を身に付ける				
授業目標	SNSの特性や、投稿するするための企画力をつけること、投稿のレベルをあげていくことを目的とする				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ヘアメイクの知識とEコマースの実務経験に基づきわかりやすく指導をする				
授業計画及び学習の内容					
1	TikTok、Instagram、YOUTUBE、絵コンテを作る	16			
2	TikTok、Instagram、YOUTUBE、動画の編集	17			
3	ホームページの特性	18			
4	作品どりなど	19			
5	スチューデントサロンの集客	20			
6	発表会	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (ロミロミ)	学年	2年
担当教員	武 知奈津	学科	トータルビューティー科	時間数	13単位(30コマ)
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、 生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 世界各国の様々な技術を習得する				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、永年に渡り認定校での指導歴があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ロミロミ (座学)	16			
2	ロミロミ (サロン)	17			
3	ロミロミ	18			
4	ロミロミ	19			
5	ロミロミ	20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (ストーン)	学年	2年
担当教員	武 知奈津	学科	トータルビューティー科	時間数	13単位(30コマ)
授業内容	<p>真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する</p>				
授業目標	<p>一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。</p>				
成績評価方法	<p>試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習 担当教員は、永年に渡り認定校での指導歴があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	ホットストーンセラピー	16			
2	ホットストーンセラピー (サロン)	17			
3	ホットストーンセラピー	18			
4	ホットストーンセラピー	19			
5	ホットストーンセラピー	20			
6	ホットストーンセラピー	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (上級筆記)	学年	2年
担当教員	岡田 紀江・森田 光子	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(15コマ)
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	試験対策		16		
2	試験対策		17		
3	試験対策		18		
4	試験対策		19		
5	試験対策		20		
6	試験		21		
7			22		
8			23		
9			24		
10			25		
11			26		
12			27		
13			28		
14			29		
15			30		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (S対策)	学年	2年
担当教員	岡田 紀江・森田 光子	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(28コマ)
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、永年に渡り認定校での指導歴があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	試験対策		16		
2	試験対策		17		
3	試験対策		18		
4	試験対策		19		
5	試験対策		20		
6			21		
7			22		
8			23		
9			24		
10			25		
11			26		
12			27		
13			28		
14			29		
15			30		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (C対策)	学年	2年
担当教員	岡田 紀江・森田 光子・武 知奈津	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(42コマ)
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。常に清新で高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する。 コンテストに出場するための技術・知識習得				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、永年に渡り認定校での指導歴があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	コンテスト対策	16			
2	コンテスト対策	17			
3	コンテスト対策	18			
4	コンテスト対策	19			
5	コンテスト対策	20			
6	コンテスト対策	21			
7	コンテスト対策	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (救急)	学年	2年
担当教員	水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(3コマ)

授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 普通救命救急の知識を習得する
成績評価方法	・消防署で行う普通救命救急講習の修了書 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	熟練された消防署員による救命救急講習の講義を行う

授業計画及び学習の内容

1	救命救急	16	
2		17	
3		18	
4		19	
5		20	
6		21	
7		22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	2025年度	ビューティーベーシック (ヨガ)	学年	2年
担当教員	松野 華織	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位(10コマ)
授業内容	<p>真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する</p>				
授業目標	<p>エステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 人体の構成（筋肉・骨格系）、姿勢やホームケアの運動の実践のアドバイスを生かす</p>				
成績評価方法	80%以上の出席率、授業態度				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習 担当教員は、yogaのインストラクターであり永年の経験や知識により、分かり易い授業展開を行う</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	ヨガ	16			
2	ヨガ	17			
3	ヨガ	18			
4	ヨガ	19			
5	ヨガ	20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (アロマ)	学年	2年
担当教員	武 知奈津	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位(27コマ)
授業内容	真のエスティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、 生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエスティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエスティシャンに必要な正しい知識 技術、人間性の教育を目的とし高水準の技術力を習得する。 AEAJアロマ環境協会1級取得を目指す				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員はエステサロン等で実務経験があり経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	アロマセラピーとは	16			
2	精油学	17			
3	安全性	18			
4	実践法	19			
5	メカニズム	20			
6	ビューティー&ヘルスケア	21			
7	歴史	22			
8	法律	23			
9	クライアントに合わせたアロマブレンドとオイルトリートメント	24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (ヘッドマッサージ)	学年	2年
担当教員	森田 光子	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位(12コマ)
授業内容	<p>真のエスティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエスティシャンを育成する</p>				
授業目標	<p>一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエスティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 様々な手技や将来役立つ技術を習得する</p>				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習 担当教員は、美容室での実務経験があり、長年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	ヘッドマッサージ	16			
2	ヘッドマッサージ	17			
3		18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (メイク)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位(12コマ)
授業内容	<p>真のエスティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエスティシャンを育成する</p>				
授業目標	<p>一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエスティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 就職時、サロン勤務に必要なメイク技術を習得する</p>				
成績評価方法	<p>・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義・デモンストレーション・校外学習 担当教員は、ヘアメイク等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	ヘア・メイク	16			
2	作品作り	17			
3		18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	高度エステティック技術	学年	2年
担当教員	岡田 紀江・森田 光子	学科	トータルビューティー科	時間数	3単位(95コマ)
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、 ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、 施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	プリント、教科書、資料を使用した講義・相モデルによる実習・外部クライアント実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	エステティック理論	16	上級実技試験対策		
2	エステティック理論	17	上級実技試験対策		
3	エステティック理論	18	上級実技試験対策		
4	エステティック理論	19	上級実技試験対策		
5	エステティック理論	20	上級実技試験対策		
6	エステティック理論	21	上級実技試験対策		
7	エステティック理論	22	上級実技試験対策		
8	エステティック理論	23	上級実技試験対策		
9	エステティック理論	24	上級実技試験対策		
10	エステティック理論	25	上級実技試験対策		
11	エステティック理論	26	上級実技試験対策		
12	エステティック理論	27	上級実技試験対策		
13	上級実技試験対策	28			
14	上級実技試験対策	29			
15	上級実技試験対策	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ボディ総合	学年	2年
担当教員	岡田 紀江・森田 光子	学科	トータルビューティー科	時間数	3単位(117コマ)
授業内容	<p>真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、 ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する</p>				
授業目標	<p>一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。</p>				
成績評価方法	<p>試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>【実習】 プリント、教科書、資料を使用した講義・相モデルによる実習・外部クライアント実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	電気機器学	16	上級試験対策		
2	低周波理論	17			
3	バイプレーター理論	18			
4	サクション理論	19			
5	ボディエステティックとは	20			
6	ボディエステティックの流れ	21			
7	事前準備・カウンセリング	22			
8	ビフォーカウンセリング	23			
9	食事指導	24			
10	運動法	25			
11	ボディ観察・採寸	26			
12	骨格系	27			
13	筋肉系	28			
14	リンパ系	29			
15	トラブル別オリジナルマッサージ	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度		科目名	フェイシャル総合		学年	2年	
担当教員	岡田 紀江・森田 光子		学科	トータルビューティー科		時間数	4単位(129コマ)	
授業内容	<p>真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する</p>							
授業目標	<p>一般社団法人日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。</p>							
成績評価方法	<p>試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>							
授業の方法 及び 講師紹介	<p>【実習】 相モデルによる実習・外部クライアント実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師</p>							
授業計画及び学習の内容								
1	電気機器学		16	肌タイプ別オリジナルマッサージ				
2	カウンセリング学		17	肌タイプ別オリジナルマッサージ				
3	カウンセリング学		18	肌タイプ別オリジナルマッサージ				
4	スキンチェック		19	肌タイプ別オリジナルマッサージ				
5	肌状態トラブル別対応		20	上級試験対策				
6	アフターカウンセリング		21	上級試験対策				
7	化粧品成分		22	上級試験対策				
8	機器の手入れ		23					
9	スキンチェック		24					
10	バター		25					
11	ディスインクラステーション		26					
12	エレクトロクレンジング		27					
13	イオン導入		28					
14	超音波		29					
15	高周波		30					

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーリレーション	学年	2年
担当教員	森田 光子・岡田 紀江・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	5単位(176コマ)

授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。
授業目標	学校や社会のルールの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、永年専門学校講師としての経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容

1	始業式	22	学園祭・後夜祭
2	オリエンテーション	23	オリエンテーション
3	オリエンテーション	24	校内コンテスト
4	オリエンテーション・サロン準備	25	オリエンテーション
5	オリエンテーション	26	エステティックコンテスト
6	授業見学会	27	ボランティア
7	口頭試問対策	28	スポーツ大会
8	前期実技試験	29	上級WAX脱毛試験
9	校外学習	30	校外学習
10	検定対策	31	上級筆記試験
11	オリエンテーション	32	後期筆記試験
12	前期筆記試験	33	後期実技試験対策
13	エステティックセンター試験	34	後期実技試験
14	大掃除	35	オリエンテーション
15	オリエンテーション	36	上級実技試験会場準備
16	オリエンテーション	37	上級実技試験
17	サマフェス準備	38	上級実技試験
18	サマフェス準備	39	オリエンテーション
19	サマフェス準備	40	研修
20	サマフェス準備	41	大掃除
21	学園祭	42	卒業研修

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	メイクアドバンス (ブライダル)	学年	2年
担当教員	勝沼 里巴	学科	トータルビューティー科	時間数	60コマ (8単位)
授業内容	「結婚式」という特別な儀式での、ヘア・メイクに求められることを学ぶと同時に、チームワークや協調性気配りなど、働く人としての意識を育てる。				
授業目標	「ブライダル」という、特別な場でのヘア・メイク技術の習得 ボリュームのあるドレスとのトータルバランスを考えたヘア・メイクの構築 お客様との接し方を学ぶ				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーション・式場見学 担当教員は、ブライダル企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	仕事内容・コラージュ作成	16			
2	コラージュ制作	17			
3	ホテル見学 (ブライダルの現場を見る)・デモンストレーション	18			
4	ブライダルメイク	19			
5	ブライダルメイク	20			
6	ブライダルメイク・発表	21			
7	ヘアアレンジ	22			
8	ヘアアレンジ	23			
9	ドレス選び・ヘアメイク練習	24			
10	撮影・作品作り	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	メイクアドバンス (特殊)	学年	2年
担当教員	若林 あかね	学科	トータルビューティー科	時間数	60コマ (8単位)
授業内容	一般的なメイクとは異なる化粧の世界を見聞し、メイクの幅を広げ、メイクのプロとしての素養を育てる				
授業目標	一般的なメイク以外の化粧、舞台メイク、歌舞伎化粧、傷、ケロイド等のメイク技術を学ぶと同時に、それぞれに使用する化粧品の種類、用途への知識を学習し、幅広い技術と化粧品知識を身に付ける。				
成績評価方法	<p>・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>【実習】 デモンストレーション実習 担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	デモンストレーション「骸骨メイク」	16			
2	デモンストレーション「老人メイク」	17			
3	デモンストレーション「男性メイク」	18			
4	デモンストレーション「傷、アザ」	19			
5	デモンストレーション「アニマルメイク」	20			
6	デモンストレーション「ゾンビメイク」	21			
7	デモンストレーション「キャラクターメイク」	22			
8	デモンストレーション「ピエロメイク」	23			
9	実習	24			
10	作品作り・撮影	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	メイクアドバンス (撮影)	学年	2年
担当教員	山口 快絵、株式会社XYOU	学科	トータルビューティー科	時間数	48コマ (8単位)
授業内容	撮影用メイクを学ぶ SNSに投稿する主に動画撮影の技術を学ぶ				
授業目標	写真映えるメイク技術の習得と、テーマに沿った表現力を身に着ける また、表現力や創造力を高め、それをヘア・メイクに落とし込めることを目標とする				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーション・写真撮影 担当教員は、ヘア・メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	SNS、動画について	16			
2	動画撮影する上での企画書作成	17			
3	動画撮影・作品1	18			
4	動画撮影する上での企画書作成	19			
5	動画撮影・作品2	20			
6	動画撮影する上での企画書作成	21			
7	動画撮影・作品3	22			
8	動画撮影する上での企画書作成	23			
9	動画撮影・作品4	24			
10	作品制作・発表	25			
11	コンテスト動画編集・発表	26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	メイクアドバンス (MA)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	54コマ (8単位)
授業内容	上級レベルのメイク技術を身につける				
授業目標	応用メイク技術の習得と、テーマに沿った表現力を身に着ける 基本的な修正テクニックを修得し、お客様の好みに沿ったメイク、お悩みに答えるメイクが作れる技術を身に付ける				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーション・写真撮影 担当教員は、ヘア・メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	全体イメージを理論的に理解	16			
2	デザイン画	17			
3	作品作り	18			
4	撮影	19			
5	作品作り	20			
6	撮影	21			
7	作品作り	22			
8	撮影	23			
9	技術理論	24			
10	顔の分析	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	メイクアドバンス (M応用)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	53コマ (8単位)
授業内容	より多くのメイク技法を学び、幅広いメイク技術と知識の習得を目指す。				
授業目標	美容部員として実際に店頭に立った時の、接客を身につける。 一般的なメイクとは違うメイクを学んだり、肌質や、用途別の化粧品に実際に触れることで、「化粧品」を知る。 仕事や心構えについて学び、知識を蓄える。				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% <li style="padding-left: 20px;">=56点+7点+10点 <li style="padding-left: 20px;">=73点 (成績点) 				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション・校外学習 担当教員は、ヘア・メイク等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	三善特別講習 (歌舞伎メイク)	16			
2	ファッションショーのメイク練習	17			
3	ファッションショーのメイク練習	18			
4	外部ファッションショーのメイクスタッフ体験	19			
5	宝塚メイク	20			
6	三善特別講習 (和装花嫁メイク)	21			
7	ヘアメイク技術試験対策・カウンセリング・ロールプレイング	22			
8	ヘアメイク技術試験対策・カウンセリング・ロールプレイング	23			
9	ヘアメイク技術試験対策・カウンセリング・ロールプレイング	24			
10	発表	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (パーソナルカラー検定)	学年	2年
担当教員	山口 快絵、色彩活用研究所	学科	トータルビューティ科	時間数	24コマ (2単位)
授業内容	一般財団法人 日本カラーコーディネーター協会のカリキュラムに準じ「色を広める」という主旨のもと、パーソナルカラーの幅広い活用法を提案し、浸透させる色を活用することで自分自身を客観的に観察したり、コミュニケーション能力を高めビジネスシーンに大きく活用する				
授業目標	パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎とそのもとなる色彩学の基本を習得する。 自分の外見をもとにした「似合う色」を通じて、より良く自己を印象付ける「自分ブランディング」とは何かを学ぶ パーソナルカラーの検定3級取得を目指す				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、パーソナルカラー診断の実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	パーソナルカラーの基本	16			
2	色のイメージ	17			
3	「似合う色」の基準を知る	18			
4	「似合う色」を客観的に探す	19			
5	ドレーピング方法	20			
6	「似合う色」を取り入れる	21			
7	検定対策	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (試験対策)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	39コマ (2単位)
授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す。 技術・知識の確認である試験に合格するため、復習と対策を行う				
授業目標	カリキュラム、施設、設備に基づき美容業に従事する者に必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 各種検定、定期試験合格を目指す				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、ヘア・メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	前期筆記試験対策	16			
2	前期筆記試験対策	17			
3	前期実技試験対策	18			
4	前期実技試験対策	19			
5	後期筆記試験対策	20			
6	後期筆記試験対策	21			
7	後期実技試験対策	22			
8	後期実技試験対策	23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティ-リレーション	学年	2年
担当教員	山口 扶絵	学科	トータルビューティ-科	時間数	148コマ (2単位)
授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。				
授業目標	学校や社会のルールの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、永年の学生指導経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	始業式	16	学園祭		
2	オリエンテーション	17	学園祭・後夜祭		
3	健康診断	18	校内コンテスト		
4	オリエンテーション	19	校内コンテスト片づけ・振り返り		
5	化粧品検定2級	20	校外学習		
6	パーソナルカラー3級	21	校外学習		
7	前期学科試験	22	化粧品検定1級		
8	前期実技試験	23	後期筆記試験		
9	試験振り返り、コンペ話し合い	24	大掃除		
10	サマフェス準備	25	後期実技試験		
11	サマフェス準備	26	研修		
12	サマフェス準備	27	大掃除		
13	サマフェス準備	28	卒業研修		
14	サマフェス準備	29	卒業式練習		
15	サマフェス準備	30	卒業式練習		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーリレーション (アレンジ)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	12コマ(2単位)
授業内容	美しさの基本となる、様々な分野の基礎を学び、美容家としての意識を養うと共に、技術の向上、チャレンジ精神、ホスピタリティマインドの意識の向上、育成を目指す				
授業目標	ヘアという3次元のものを、美しく見せるテクニック、技術を習得し、基本的なアレンジのパターンを学ぶ。ヘアアレンジなど多種多様な美容技術を学ぶ				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10%</p> <p>=56点+7点+10点</p> <p>=73点(成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>【実習】</p> <p>デモンストレーション・写真撮影</p> <p>担当教員は、ヘア・メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	ヘアアレンジ(基礎技術)	16			
2	ヘアアレンジ、パターン1	17			
3	ヘアアレンジ、パターン2	18			
4	ヘアアレンジ、パターン3	19			
5	コンテスト用のヘアアレンジ	20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (サロン)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	37コマ (8単位)
授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す				
授業目標	スチューデントサロンなどで外部からのお客様に接することで、実際の社会での仕事に活かす技術を磨き、接客業としてのスキルを身に付ける				
成績評価方法	<p>・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習</p> <p>担当教員は、ヘア・メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	スチューデントサロンの運営企画	16			
2	スチューデントサロン準備	17			
3	スチューデントサロン用作品作り	18			
4	スチューデントサロン運営	19			
5	スチューデントサロン準備	20			
6	スチューデントサロン	21			
7	スチューデントサロン	22			
8	スチューデントサロン	23			
9	スチューデントサロン	24			
10	スチューデントサロン	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (卒業制作)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	46コマ (8単位)
授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す				
授業目標	自分の思い描いた通りのメイクに仕上げる 様々なジャンルのメイクを作り上げる 様々なジャンルのメイクを自分のものとして表現する				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ヘアメイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	テーマ決め	16			
2	デザイン制作	17			
3	ファッション・ヘアメイク練習	18			
4	作品制作・撮影①	19			
5	作品制作・撮影②	20			
6	作品制作・撮影③	21			
7	作品制作・撮影④	22			
8	卒業制作の動画と論文制作	23			
9	卒業制作発表会	24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (化粧品検定2級)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	43コマ (8単位)
授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す				
授業目標	化粧品のみならず、皮膚の構造や、解剖学などの基礎知識の理解を深め、化粧品検定1級に合格し、スキルアップを計る				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習</p> <p>担当教員は、ヘアメイク企業等で商品開発経験と日本化粧品検定協会のコスメコンシェルジュインストラクターであり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	化粧品の歴史	16			
2	化粧品原料と基礎知識 (スキンケア化粧品について)	17			
3	化粧品原料と基礎知識 (毛髪構造とヘアケア製品について)	18			
4	化粧品原料と基礎知識 (ネイルの構造について)	19			
5	化粧品原料と基礎知識 (香りの成分と働きについて)	20			
6	化粧品原料と基礎知識 (オーラルケア製品について)	21			
7	化粧品原料と基礎知識 (サプリメントについて)	22			
8	化粧品にまつわるルールについて (法律、官能試験)	23			
9	検定試験対策	24			
10	日本化粧品検定	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (化粧品検定2級)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	30コマ (8単位)
授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す				
授業目標	化粧品のみならず、皮膚の構造や、解剖学などの基礎知識の理解を深め、化粧品検定2級に合格し、スキルアップを計る				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10%</p> <p>=56点+7点+10点</p> <p>=73点 (成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習</p> <p>担当教員は、ヘアメイク企業等で商品開発経験と日本化粧品検定協会のコスメコンシェルジュインストラクターであり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	皮膚の構造	16			
2	皮膚機能	17			
3	メイクアップの基礎テクニック	18			
4	肌悩みに応じた、化粧品の使い方	19			
5	肌を劣化させる様々な要因	20			
6	紫外線が肌に与える影響	21			
7	効果的なマッサージの必要性と方法・美しい肌を作る生活習慣	22			
8	日本化粧品検定	23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ファッションアドバンス (F応用)	学年	2年
担当教員	杉浦 咲恵、山口 快絵	学科	トータルビューティ科	時間数	25コマ (2単位)
授業内容	メイクを学ぶ上でも、ファッション感覚は必要不可欠なものである。 トータルバランス感覚を磨きあらゆる女性像に対応できる人間形成を目指す。				
授業目標	トータルバランスの取れたメイクを作る為のファッション感覚を養う				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・プレゼンテーション 担当教員は、アパレル企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ファッションの流行・動向	16			
2	歌舞伎バックステージ	17			
3	コンテスト用のコーディネートについて	18			
4	コンテスト用のコーディネートについて	19			
5	東京ガールズコレクションにて調査	20			
6	トータルコーディネート	21			
7	トータルコーディネート	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ファッションアドバンス (文化論)	学年	2年
担当教員	西澤 レイ	学科	トータルビューティー科	時間数	36コマ (2単位)
授業内容	メイクを学ぶ上でも、ファッション感覚、またその歴史を学ぶことは必要不可欠なものであり、トータルバランス感覚を磨きあらゆる女性像に対応できる、グローバルな人間形成を目指す。				
授業目標	トータルバランスの取れたメイクを作る為のファッション感覚を養う あらゆる女性像に対応できる、美的感覚を磨く				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・プレゼンテーション・市場調査 担当教員は、ファッション業界で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	古代エジプト・古代ギリシア・ローマ古代ゲルマン・中世ヨーロッパ	16			
2	縄文・弥生・古墳時代 (飛鳥・奈良・平安)	17			
3	縄文・弥生・古墳時代 (飛鳥・奈良・平安)	18			
4	中世 (平安時代末期・鎌倉・戦国時代)	19			
5	中世 (平安時代末期・鎌倉・戦国時代)	20			
6	近世 (戦国時代末期・安土桃山時代・江戸時代)	21			
7	近世 (戦国時代末期・安土桃山時代・江戸時代)	22			
8	近代 (明治時代・大正時代・昭和20年まで)	23			
9	近代 (明治時代・大正時代・昭和20年まで)	24			
10	現代 (1945年～2010年代)	25			
11	現代 (1945年～2010年代)	26			
12	礼装の種類 (和装・洋装)	27			
13	礼装の種類 (和装・洋装)	28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ファッションアドバンス (骨格診断)	学年	2年
担当教員	永光 詩織	学科	トータルビューティー科	時間数	9コマ (2単位)
授業内容	メイクを学ぶ上でも、ファッション感覚、またその歴史を学ぶことは必要不可欠なものであり、トータルバランス感覚を磨きあらゆる女性像に対応できる、グローバルな人間形成を目指す。				
授業目標	トータルバランスの取れたメイクを作る為のファッション感覚を養う あらゆる女性像に対応できる、美的感覚を磨く				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習 担当教員は、各スクール、企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	体型・形状の種類	16			
2	各パーツのプロポーションと形状	17			
3	骨格診断	18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ファッションアドバンス (販売)	学年	2年
担当教員	杉浦 咲恵	学科	トータルビューティ科	時間数	6コマ (2単位)
授業内容	メイクを学ぶ上でも、ファッション感覚、またその歴史を学ぶことは必要不可欠なものであり、トータルバランス感覚を磨きあらゆる女性像に対応できる、グローバルな人間形成を目指す。				
授業目標	トータルバランスの取れたメイクを作る為のファッション感覚を養う あらゆる女性像に対応できる、美的感覚を磨く				
成績評価方法	<p>・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% = 56点+7点+10点 = 73点 (成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義</p> <p>担当教員は、アパレル企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	アパレル業界の販売について	16			
2	アパレル業界の販売について	17			
3		18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	メイクテクニカル (ロープレ)	学年	2年
担当教員	山口 快絵、本庄 華月	学科	トータルビューティー科	時間数	47コマ (2単位)
授業内容	ロールプレイング等を通じて上級レベルの接客スキルとメイク技術を身につける。				
授業目標	美容部員として実際に店頭に立った時の、接客を身につける。 一般的なメイクとは違うメイクを学んだり、肌質や、用途別の化粧品に実際に触れることで、「化粧品」を知る。 仕事や心構えについて学び、知識を蓄える。				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション 担当教員は、ヘアメイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	接客心理・販売心理	16			
2	クレーム対応	17			
3	市場調査	18			
4	化粧品学や法律について	19			
5	接客ロールプレイング実習	20			
6	接客ロールプレイング実習	21			
7	接客ロールプレイング実習	22			
8	発表会	23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	メイクテクニカル (BA)	学年	2年
担当教員	山口 快絵、本庄 華月	学科	トータルビューティー科	時間数	49コマ (2単位)
授業内容	美容部員として役立つ接客スキルと販売心理を身に付け、社会に貢献できる人材の育成を目指す				
授業目標	美容部員として実際に店頭に立った時の、接客を身につける。 一般的なメイクとは違うメイクを学んだり、肌質や、用途別の化粧品に実際に触れることで、「化粧品」を知る。 仕事や心構えについて学び、知識を蓄える。				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点) 				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション 担当教員は、ヘアメイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	美容部員とは	16			
2	販売チャネルについて・百貨店の特性について	17			
3	肌測定	18			
4	百貨店でのタッチアップ技法	19			
5	カウンセリング技法	20			
6	カウンセリング技法	21			
7	カウンセリング技法	22			
8	カウンセリング技法	23			
9	カウンセリング技法	24			
10	カウンセリング技法	25			
11	カウンセリング技法	26			
12	カウンセリング技法	27			
13	カウンセリング技法	28			
14	カウンセリング技法	29			
15	試験対策	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (着付け)	学年	2年
担当教員	高橋 由香	学科	トータルビューティー科	時間数	9コマ (2単位)
授業内容	美しさの基本となる、様々な分野の基礎を学び、美容家としての意識を養うと共に、技術の向上、チャレンジ精神、ホスピタリティマインドの意識の向上、育成を目指す				
授業目標	普段着用の浴衣を自身で着れる「着付けテクニック」を身に付け、「着物」についての知識も身に付ける				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、着付・美容室で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	着付		16		
2	着付		17		
3	着付		18		
4			19		
5			20		
6			21		
7			22		
8			23		
9			24		
10			25		
11			26		
12			27		
13			28		
14			29		
15			30		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (コンベ)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	59コマ (2単位)
授業内容	美容業に従事する者として成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献する社会人を育成する				
授業目標	個々の感性や、技術を発揮し、ヘア、メイク、ファッションをテーマに沿ってトータルコーディネートをした作品を制作し、コンテストで披露する				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ヘア・メイク等での実務経験があり、永年の教育現場での経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	デザイン画作成	16			
2	トレーニング	17			
3	トレーニング	18			
4	ヘアメイク練習	19			
5	トレーニング	20			
6	コンテスト仕込み	21			
7	ウォーキング指導・ボーシング指導	22			
8	会場の照明・衣装フィッティング	23			
9	メイクショーのリハーサル	24			
10	メイクショーのリハーサル	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (アロマ)	学年	2年
担当教員	武 知奈津	学科	トータルビューティー科	時間数	18コマ (2単位)
授業内容	美しさの基本となる、様々な分野の基礎を学び、美容家としての意識を養うと共に、技術の向上、チャレンジ精神、ホスピタリティマインドの意識の向上、育成を目指す				
授業目標	基本的なアロマの種類、用途を学び、心身ともに日常でのゆとりを生み出すアイテムとして、活用できるようになる AEAJ (アロマ環境協会) アロマ検定1級を目指す				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン・各スクールにて永年講義をおこなっており、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	アロマセラピーとは	16			
2	精油学	17			
3	安全性・実践法	18			
4	ビューティー&ヘルスケア	19			
5	歴史	20			
6	アロマに関する法律	21			
7	ワークショップ	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度		科目名	ビューティーベーシック (ヨガ)	学年	2年
担当教員	松野 章織		学科	トータルビューティー科 (2単位)	時間数	6コマ (2単位)
授業内容	美容業に従事する者として成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献する社会人を育成する					
授業目標	正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 人体の構成 (筋肉・骨格系) 姿勢やホームケアの運動の実践のアドバイスに生かす					
成績評価方法	80%以上の出席率、授業態度					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、yogaのインストラクターであり永年の経験や知識により、分かり易い授業展開を行う					
授業計画及び学習の内容						
1	ヨガ		16			
2	ヨガ		17			
3	ヨガ		18			
4			19			
5			20			
6			21			
7			22			
8			23			
9			24			
10			25			
11			26			
12			27			
13			28			
14			29			
15			30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (アウトフットプログラム)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	18コマ (2単位)
授業内容	SNSの特性を知り、スチューデントサロンで集客するための企画をたてる。SNSを活用し集客に繋げるための知識を身に付ける				
授業目標	SNSの特性や、投稿するするための企画力をつけること、投稿のレベルをあげていくことを目的とする				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習</p> <p>担当教員は、ヘアメイクの知識とEコマースの実務経験に基づきわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	作品撮り	16			
2	作品撮り	17			
3	業界のインスタグラマーより作品撮り実習	18			
4	業界のインスタグラマーより作品撮り実習	19			
5	スチューデントサロンの集客	20			
6	発表会	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (アウトプットプログラム)	学年	2年
担当教員	フジシマ 水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位(18コマ)
授業内容	SNSの特徴、属性の違い、ルール、セキュリティ、企画の立て方、動画編集の練習				
授業目標	SNSの特性を知り学生サロンで集客するための企画を立てる SNSを活用し集客に繋げるための知識を身に付ける				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	授業の目的・学生サロン集客について	16	動画撮影		
2	学校紹介動画作成	17	編集・投稿		
3	動画編集	18	まとめ		
4	素材考案	19			
5	素材作成	20			
6	素材作成	21			
7	動画作成	22			
8	動画編集	23			
9	投稿	24			
10	動画作成	25			
11	動画編集	26			
12	投稿	27			
13	ネイルの専門性が高い講師からの指導	28			
14	ネイルの専門性が高い講師からの指導	29			
15	ネイルの専門性が高い講師からの指導	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度		科目名	ビューティーベーシック (ヨガ)	学年	2年
担当教員	松野 華織		学科	トータルビューティー科	時間数	2単位(6コマ)
授業内容	美容業として成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献する社会人を育成する					
授業目標	ネイリストに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 人体の構成（筋肉・骨格系） 姿勢やホームケアの運動の実践のアドバイスに生かす					
成績評価方法	80%以上の出席率、授業態度					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、yogaのインストラクターであり永年の経験や知識により、分かり易い授業展開を行う					
授業計画及び学習の内容						
1	ヨガ		16			
2	ヨガ		17			
3	ヨガ		18			
4	ヨガ		19			
5	ヨガ		20			
6	ヨガ		21			
7			22			
8			23			
9			24			
10			25			
11			26			
12			27			
13			28			
14			29			
15			30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (検定対策)	学年	2年
担当教員	高橋 絵美・柳澤 真理恵・小川 いずみ・飯田 悟子・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位(30コマ)
授業内容	検定対策				
授業目標	フットネイル全般の技術の取得、各検定試験の試験対策				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	JNECネイリスト技能2級検定対策	16	ジェルネイル技能検定中級試験対策		
2	JNECネイリスト技能2級検定対策	17	ジェルネイル技能検定中級試験対策		
3	JNECネイリスト技能2級検定対策	18	ジェルネイル技能検定中級試験対策		
4	JNECネイリスト技能2級検定対策	19	JNECネイリスト技能1級検定対策		
5	JNECネイリスト技能2級検定対策	20	JNECネイリスト技能1級検定対策		
6	JNECネイリスト技能2級検定対策	21	JNECネイリスト技能1級検定対策		
7	ジェルネイル技能検定中級試験対策	22	JNECネイリスト技能1級検定対策		
8	ジェルネイル技能検定中級試験対策	23	JNECネイリスト技能1級検定対策		
9	ジェルネイル技能検定中級試験対策	24	JNECネイリスト技能1級検定対策		
10	ジェルネイル技能検定中級試験対策	25	ジェルネイル技能検定上級試験対策		
11	ジェルネイル技能検定中級試験対策	26	ジェルネイル技能検定上級試験対策		
12	ジェルネイル技能検定中級試験対策	27	ジェルネイル技能検定上級試験対策		
13	ジェルネイル技能検定中級試験対策	28	ジェルネイル技能検定上級試験対策		
14	ジェルネイル技能検定中級試験対策	29	ジェルネイル技能検定上級試験対策		
15	ジェルネイル技能検定中級試験対策	30	ジェルネイル技能検定上級試験対策		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーベーシック (フット)	学年	2年
担当教員	柳澤 真理恵・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	2単位(30コマ)
授業内容	フットネイルの技術の習得				
授業目標	フットネイル全般の技術の取得、各検定試験の試験対策				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	デモンストレーション・ネイルケア理論・ネイルケア	16	フットネイルケア・デザイン作成		
2	フットネイルケア	17	フットネイルケア・デザイン作成		
3	フットネイルケア	18	フットネイルケア・デザイン作成		
4	フットネイルケア	19	フットジェルネイルの施術		
5	フットネイルケア	20	フットジェルネイルの施術		
6	フットネイルケア	21	フットジェルネイルの施術		
7	フットネイルケア	22	フットジェルネイルの施術		
8	フットネイルケア	23	フットジェルネイルの施術		
9	フットネイルケア	24	フットジェルネイルの施術		
10	フットネイルケア	25	フットジェルネイルの施術		
11	フットネイルケア	26	フットジェルネイルの施術		
12	フットネイルケア・デザイン作成	27	フットジェルネイルの施術		
13	フットネイルケア・デザイン作成	28	フットジェルネイルの施術		
14	フットネイルケア・デザイン作成	29	フットジェルネイルの施術		
15	フットネイルケア・デザイン作成	30	フットジェルネイルの施術		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (ボランティア)	学年	2年
担当教員	水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	7単位(12コマ)
授業内容	<p>実際のサロンを模した形式での施術、接客、福祉施設等の利用者を対象とした施術、接客をし、実際のネイルサロンで働く事を想定し即戦力となる技術を学ぶ。 また、福祉施設等でのボランティアを通じ、社会貢献をし、人と関わることで得られる人間関係により、心をより豊かにする。</p>				
授業目標	<p>実践に基づく技術と接客を学ぶ。社会貢献の目的を理解し意義を学ぶ。</p>				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実践に基づく形式での実習。 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	ボランティア	16			
2	ボランティア	17			
3	ボランティア	18			
4	ボランティア	19			
5	ボランティア	20			
6	ボランティア	21			
7	ボランティア	22			
8	ボランティア	23			
9	ボランティア	24			
10	ボランティア	25			
11	ボランティア	26			
12	ボランティア	27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティービジネス (サロン)	学年	2年
担当教員	水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	7単位(105コマ)
授業内容	実際のサロンを模した形式での作品作成、作品発表、ボランティア、スチューデントサロンでの施術をし、実際のネイルサロンで働く事を想定した即戦力となる技術と提案力を学ぶ。				
授業目標	実践に基づく技術と接客を学ぶ。社会貢献の目的を理解し意義を学ぶ。				
成績評価方法	<p>・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10%</p> <p>＝56点+7点+10点</p> <p>＝73点（成績点）</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習</p> <p>担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師</p>				
授業計画及び学習の内容					
1	デザイン作成	54	デザイン作成		
2	デザイン作成	55	デザイン作成		
3	デザイン作成	56	デザイン作成		
4	デザイン作成	57	デザイン作成		
5	デザイン作成	58	デザイン作成		
6	デザイン作成	59	デザイン作成		
7	デザイン作成	60	デザイン作成		
8	デザイン作成	61	デザイン作成		
9	デザイン作成	62	デザイン作成		
10	ボランティア練習	63	スチューデントサロン準備		
11	ボランティア練習	64	スチューデントサロン準備		
12	ボランティア練習	65	スチューデントサロン準備		
13	ボランティア練習	66	スチューデントサロン準備		
14	ボランティア練習	67	スチューデントサロン準備		
15	ボランティア練習	68	スチューデントサロン準備		
16	デザイン作成	69	スチューデントサロン準備		
17	デザイン作成	70	スチューデントサロン準備		

18	デザイン作成	71	スチューデントサロン準備
19	デザイン作成	72	スチューデントサロン準備
20	デザイン作成	73	スチューデントサロン準備
21	デザイン作成	74	スチューデントサロン準備
22	デザイン作成	75	スチューデントサロン準備
23	デザイン作成	76	スチューデントサロン準備
24	ボランティア練習	77	スチューデントサロン準備
25	ボランティア練習	78	スチューデントサロン準備
26	ボランティア練習	79	スチューデントサロン準備
27	ボランティア練習	80	スチューデントサロン準備
28	ボランティア練習	81	スチューデントサロン準備
29	ボランティア練習	82	スチューデントサロン準備
30	デザイン作成	83	スチューデントサロン準備
31	デザイン作成	84	スチューデントサロン準備
32	デザイン作成	85	スチューデントサロン準備
33	デザイン作成	86	プレオープン
34	デザイン作成	87	プレオープン
35	デザイン作成	88	プレオープン
36	ボランティア練習	89	プレオープン
37	ボランティア練習	90	プレオープン
38	ボランティア練習	91	プレオープン
39	ボランティア練習	92	スチューデントサロン
40	ボランティア練習	93	スチューデントサロン
41	ボランティア練習	94	スチューデントサロン
42	デザイン作成	95	スチューデントサロン
43	デザイン作成	96	スチューデントサロン
44	デザイン作成	97	スチューデントサロン
45	デザイン作成	98	スチューデントサロン
46	デザイン作成	99	スチューデントサロン
47	デザイン作成	100	スチューデントサロン
48	デザイン作成	101	スチューデントサロン

49	デザイン作成	102	スチューデントサロン
50	デザイン作成	103	スチューデントサロン
51	デザイン作成	104	スチューデントサロン
52	デザイン作成	105	スチューデントサロン
53	デザイン作成		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (衛生管理)	学年	2年
担当教員	小川 いずみ	学科	トータルビューティー科	時間数	7単位(6コマ)
授業内容	JNAテクニカルシステムに沿ってネイルに必要な衛生基準を理解し習得させる				
授業目標	ネイリストに必要な衛生管理基準に準じた衛生基準や法規を理解し衛生管理士資格の取得を目指す				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	ネイリスト衛生管理士講習会	16			
2	ネイリスト衛生管理士講習会	17			
3	ネイリスト衛生管理士講習会	18			
4	ネイリスト衛生管理士講習会	19			
5	ネイリスト衛生管理士講習会	20			
6	ネイリスト衛生管理士講習会	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (2級)	学年	2年
担当教員	高橋 絵美・小川 いずみ・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	7単位(36コマ)
授業内容	JNAテクニカルシステムに沿ってネイル基礎理論・ネイル技術を学びネイリスト技能検定2級取得を目指す。				
授業目標	ネイリスト検定2級取得を目指す				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	19	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
2	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	20	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
3	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	21	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
4	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	22	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
5	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	23	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
6	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	24	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
7	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	25	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
8	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	26	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
9	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	27	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
10	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	28	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
11	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	29	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
12	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	30	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
13	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	31	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
14	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	32	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
15	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	33	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
16	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	34	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
17	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	35	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		
18	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	36	JNECネイリスト技能検定2級試験対策		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーサイエンス (エアブラシ)	学年	2年
担当教員	柳澤 真理恵・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	7単位(30コマ)
授業内容	エアブラシの使用方法、テクニックを学びコンテストに特化したアート技術を取得、				
授業目標	コンテスト対策・エアブラシ技術の取得				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	道具の取り扱いと基礎練習・台紙にアート完成	16	くるくるカッター・花・チェック柄		
2	グラデーション	17	くるくるカッター・花・チェック柄		
3	グラデーション	18	くるくるカッター・花・チェック柄		
4	グラデーション	19	5本組デザイン画作成		
5	グラデーション	20	5本組デザイン画作成		
6	グラデーション	21	5本組デザイン画作成		
7	マスキング	22	最終作品作成		
8	マスキング	23	最終作品作成		
9	マスキング	24	最終作品作成		
10	マスキング	25	最終作品作成		
11	マスキング	26	最終作品作成		
12	マスキング	27	最終作品作成		
13	くるくるカッター・花・チェック柄	28	最終作品作成		
14	くるくるカッター・花・チェック柄	29	最終作品作成		
15	くるくるカッター・花・チェック柄	30	最終作品作成		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度		科目名	ビューティーサイエンス (コンベ)	学年	2年
担当教員	小川 いずみ・水本 優美		学科	トータルビューティー科	時間数	7単位(48コマ)
授業内容	エアブラシの使用方法、テクニックを学びコンテストに特化したアート技術を取得、					
授業目標	コンテスト対策・エアブラシ技術の取得					
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)</p>					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師					
授業計画及び学習の内容						
1	コンテスト対策	25	コンテスト対策			
2	コンテスト対策	26	コンテスト対策			
3	コンテスト対策	27	コンテスト対策			
4	コンテスト対策	28	コンテスト対策			
5	コンテスト対策	29	コンテスト対策			
6	コンテスト対策	30	コンテスト対策			
7	コンテスト対策	31	コンテスト対策			
8	コンテスト対策	32	コンテスト対策			
9	コンテスト対策	33	コンテスト対策			
10	コンテスト対策	34	コンテスト対策			
11	コンテスト対策	35	コンテスト対策			
12	コンテスト対策	36	コンテスト対策			
13	コンテスト対策	37	コンテスト対策			
14	コンテスト対策	38	コンテスト対策			
15	コンテスト対策	39	コンテスト対策			
16	コンテスト対策	40	コンテスト対策			
17	コンテスト対策	41	コンテスト対策			
18	コンテスト対策	42	コンテスト対策			

19	コンテスト対策	43	コンテスト対策
20	コンテスト対策	44	コンテスト対策
21	コンテスト対策	45	コンテスト対策
22	コンテスト対策	46	コンテスト対策
23	コンテスト対策	47	コンテスト対策
24	コンテスト対策	48	コンテスト対策

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度		科目名	ネイルアドバンス (リベア)	学年	2年
担当教員	小川 いずみ・水本 優美		学科	トータルビューティー科	時間数	8単位(88コマ)
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルをリベアする上で必要な技術を得得する ・アクリルを使用して作る立体アートを習得する 					
授業目標	補修・補強・矯正技術・立体アートの習得とサロンワークに必要な技術であるマシン技術を得得し使いこなせることを目的とする					
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。					
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実習 実践に基づく形式での授業。</p> <p>担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師</p>					
授業計画及び学習の内容						
1	リベア	45	リベア			
2	リベア	46	リベア			
3	リベア	47	リベア			
4	リベア	48	リベア			
5	リベア	49	リベア・立体アート			
6	リベア	50	リベア・立体アート			
7	リベア	51	リベア・立体アート			
8	リベア	52	リベア・立体アート			
9	リベア	53	リベア・立体アート			
10	リベア	54	リベア・立体アート			
11	リベア	55	リベア・立体アート			
12	リベア	56	リベア・立体アート			
13	リベア	57	リベア・立体アート			
14	リベア	58	リベア・立体アート			
15	リベア	59	リベア・立体アート			
16	リベア	60	リベア・立体アート			
17	リベア	61	リベア・立体アート			
18	リベア	62	リベア・立体アート			

19	リベア	63	リベア・立体アート
20	リベア	64	リベア・立体アート
21	リベア	65	リベア・立体アート
22	リベア	66	リベア・立体アート
23	リベア	67	リベア・立体アート
24	リベア	68	リベア・立体アート
25	リベア	69	リベア・立体アート
26	リベア	70	リベア・立体アート
27	リベア	71	リベア・立体アート
28	リベア	72	リベア・立体アート
29	リベア	73	リベア
30	リベア	74	リベア
31	リベア	75	リベア
32	リベア	76	リベア
33	リベア	77	リベア
34	リベア	78	リベア
35	リベア	79	リベア
36	リベア	80	リベア
37	リベア	81	リベア
38	リベア	82	リベア
39	リベア	83	リベア
40	リベア	84	リベア
41	リベア	85	リベア
42	リベア	86	リベア
43	リベア	87	リベア
44	リベア	88	リベア

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度		科目名	ネイルアドバンス (1級)	学年	2年
担当教員	小川 いずみ・飯田 悟子・水本 優美		学科	トータルビューティー科	時間数	8単位(185コマ)
授業内容	JNAテクニカルシステムに沿ってネイル基礎理論・ネイル技術を学びネイリスト技能検定1級取得を目指す。					
授業目標	ネイリスト技能検定1級取得					
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。					
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 実践に基づく形式での授業。 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師					
授業計画及び学習の内容						
1	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	94	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
2	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	95	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
3	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	96	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
4	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	97	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
5	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	98	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
6	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	99	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
7	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	100	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
8	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	101	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
9	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	102	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
10	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	103	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
11	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	104	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
12	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	105	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
13	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	106	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
14	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	107	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
15	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	108	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
16	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	109	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
17	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	110	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
18	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	111	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
19	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	112	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			
20	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	113	JNECネイリスト技能検定1級試験対策			

89	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	182	JNECネイリスト技能検定1級試験対策
90	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	183	JNECネイリスト技能検定1級試験対策
91	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	184	JNECネイリスト技能検定1級試験対策
92	JNECネイリスト技能検定1級試験対策	185	JNECネイリスト技能検定1級試験対策
93	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ネイルテクニカル (ジェル上級)	学年	2年
担当教員	小川 いずみ・飯田 悟子・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(66コマ)
授業内容	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～に沿ってジェルネイル基礎理論・ジェルネイル技術を学びジェルネイル技能検定中級、上級取得を目指す。				
授業目標	ジェルネイル技能検定上級取得				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	ジェルネイル技能検定試験対策	34	ジェルネイル技能検定試験対策		
2	ジェルネイル技能検定試験対策	35	ジェルネイル技能検定試験対策		
3	ジェルネイル技能検定試験対策	36	ジェルネイル技能検定試験対策		
4	ジェルネイル技能検定試験対策	37	ジェルネイル技能検定試験対策		
5	ジェルネイル技能検定試験対策	38	ジェルネイル技能検定試験対策		
6	ジェルネイル技能検定試験対策	39	ジェルネイル技能検定試験対策		
7	ジェルネイル技能検定試験対策	40	ジェルネイル技能検定試験対策		
8	ジェルネイル技能検定試験対策	41	ジェルネイル技能検定試験対策		
9	ジェルネイル技能検定試験対策	42	ジェルネイル技能検定試験対策		
10	ジェルネイル技能検定試験対策	43	ジェルネイル技能検定試験対策		
11	ジェルネイル技能検定試験対策	44	ジェルネイル技能検定試験対策		
12	ジェルネイル技能検定試験対策	45	ジェルネイル技能検定試験対策		
13	ジェルネイル技能検定試験対策	46	ジェルネイル技能検定試験対策		
14	ジェルネイル技能検定試験対策	47	ジェルネイル技能検定試験対策		
15	ジェルネイル技能検定試験対策	48	ジェルネイル技能検定試験対策		
16	ジェルネイル技能検定試験対策	49	ジェルネイル技能検定試験対策		
17	ジェルネイル技能検定試験対策	50	ジェルネイル技能検定試験対策		
18	ジェルネイル技能検定試験対策	51	ジェルネイル技能検定試験対策		

19	ジェルネイル技能検定試験対策	52	ジェルネイル技能検定試験対策
20	ジェルネイル技能検定試験対策	53	ジェルネイル技能検定試験対策
21	ジェルネイル技能検定試験対策	54	ジェルネイル技能検定試験対策
22	ジェルネイル技能検定試験対策	55	ジェルネイル技能検定試験対策
23	ジェルネイル技能検定試験対策	56	ジェルネイル技能検定試験対策
24	ジェルネイル技能検定試験対策	57	ジェルネイル技能検定試験対策
25	ジェルネイル技能検定試験対策	58	ジェルネイル技能検定試験対策
26	ジェルネイル技能検定試験対策	59	ジェルネイル技能検定試験対策
27	ジェルネイル技能検定試験対策	60	ジェルネイル技能検定試験対策
28	ジェルネイル技能検定試験対策	61	ジェルネイル技能検定試験対策
29	ジェルネイル技能検定試験対策	62	ジェルネイル技能検定試験対策
30	ジェルネイル技能検定試験対策	63	ジェルネイル技能検定試験対策
31	ジェルネイル技能検定試験対策	64	ジェルネイル技能検定試験対策
32	ジェルネイル技能検定試験対策	65	ジェルネイル技能検定試験対策
33	ジェルネイル技能検定試験対策	66	ジェルネイル技能検定試験対策

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ネイルテクニカル (ジェル中級)	学年	2年
担当教員	小川 いずみ・柳澤 真理恵・飯田 悟子・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(84コマ)
授業内容	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～に沿ってジェルネイル基礎理論・ジェルネイル技術を学びジェルネイル技能検定中級、上級取得を目指す。				
授業目標	ジェルネイル技能検定中級、上級取得				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	ジェルネイル基礎理論	16			
2	ジェルネイルグラデーション	17			
3	ジェルフレンチ	18			
4	ジェルネイルイクステンション技術	19			
5	ジェルオフ技術	20			
6	ジェルネイル技能検定試験対策	21			
7	ジェルネイル技能検定試験対策	22			
8	ジェルネイル技能検定試験対策	23			
9	ジェルネイル技能検定試験対策	24			
10	ジェルネイル技能検定試験対策	25			
11	ジェルネイル技能検定試験対策	26			
12	ジェルネイル技能検定試験対策	27			
13	ジェルネイル技能検定試験対策	28			
14		29			
15		30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ネイルテクニカル (試験対策)	学年	2年
担当教員	水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(22コマ)
授業内容	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～に沿ってジェルネイル基礎理論・ジェルネイル技術を学びジェルネイル技能検定中級、上級取得を目指す。				
授業目標	ジェルネイル技能検定中級、上級取得、JNECネイリスト技能検定1級筆記対策、後期実技試験対策、校内コンテスト対策				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	試験対策	16	試験対策		
2	試験対策	17	試験対策		
3	試験対策	18	試験対策		
4	試験対策	19	試験対策		
5	試験対策	20	試験対策		
6	試験対策	21	試験対策		
7	試験対策	22	試験対策		
8	試験対策	23			
9	試験対策	24			
10	試験対策	25			
11	試験対策	26			
12	試験対策	27			
13	試験対策	28			
14	試験対策	29			
15	試験対策	30			

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	科目名	ビューティーリレーション	学年	2年
担当教員	柳澤 真理恵・小川 いずみ・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	4単位(153コマ)

授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。
授業目標	学校や社会のルールの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び校外実習

授業計画及び学習の内容

1	始業式	78	学園祭準備
2	始業式	79	学園祭準備
3	始業式	80	学園祭準備
4	オリエンテーション	81	学園祭準備
5	オリエンテーション	82	学園祭準備
6	オリエンテーション	83	学園祭準備
7	オリエンテーション	84	学園祭準備
8	オリエンテーション	85	学園祭準備
9	オリエンテーション	86	学園祭準備
10	TAT講習	87	学園祭準備
11	TAT講習	88	学園祭準備
12	TAT講習	89	学園祭準備
13	校内コンテスト	90	学園祭準備
14	校内コンテスト	91	学園祭準備
15	校内コンテスト	92	学園祭準備
16	JNECネイリスト技能検定2級	93	学園祭準備
17	JNECネイリスト技能検定2級	94	学園祭準備
18	JNECネイリスト技能検定2級	95	学園祭準備

19	校外実習	96	学園祭準備
20	校外実習	97	学園祭準備
21	校外実習	98	学園祭準備
22	校外実習	99	学園祭準備
23	校外実習	100	学園祭準備
24	校外実習	101	学園祭準備
25	校外実習	102	学園祭準備
26	校外実習	103	学園祭準備
27	校外実習	104	学園祭準備
28	校外実習	105	学園祭準備
29	校外実習	106	学園祭準備
30	校外実習	107	学園祭準備
31	校外実習	108	学園祭準備
32	校外実習	109	後期実技試験
33	校外実習	110	後期実技試験
34	校外実習	111	後期実技試験
35	校外実習	112	後期実技試験
36	校外実習	113	後期実技試験
37	校外実習	114	後期実技試験
38	校外実習	115	後期筆記試験
39	校外実習	116	後期筆記試験
40	校外実習	117	後期筆記試験
41	校外実習	118	後期筆記試験
42	校外実習	119	後期筆記試験
43	校外実習	120	後期筆記試験
44	校外実習	121	JNECネイリスト技能検定1級
45	校外実習	122	JNECネイリスト技能検定1級
46	校外実習	123	JNECネイリスト技能検定1級
47	校外実習	124	JNECネイリスト技能検定1級
48	校外実習	125	JNECネイリスト技能検定1級
49	校外実習	126	JNECネイリスト技能検定1級
50	校外実習	127	ジェルネイル技能検定中級
51	校外実習	128	ジェルネイル技能検定中級
52	校外実習	129	ジェルネイル技能検定中級
53	校外実習	130	ジェルネイル技能検定中級
54	校外実習	131	ジェルネイル技能検定中級
55	学園祭準備	132	ジェルネイル技能検定中級
56	学園祭準備	133	ジェルネイル技能検定上級

57	学園祭準備	134	ジェルネイル技能検定上級
58	学園祭準備	135	ジェルネイル技能検定上級
59	学園祭準備	136	ジェルネイル技能検定上級
60	学園祭準備	137	ジェルネイル技能検定上級
61	学園祭準備	138	ジェルネイル技能検定上級
62	学園祭準備	139	大掃除
63	学園祭準備	140	大掃除
64	学園祭準備	141	大掃除
65	学園祭準備	142	大掃除
66	学園祭準備	143	大掃除
67	学園祭準備	144	大掃除
68	学園祭準備	145	卒業式練習
69	学園祭準備	146	卒業式練習
70	学園祭準備	147	卒業式練習
71	学園祭準備	148	卒業式練習
72	学園祭準備	149	卒業式練習
73	学園祭準備	150	卒業式練習
74	学園祭準備	151	卒業式
75	学園祭準備	152	卒業式
76	学園祭準備	153	卒業式
77	学園祭準備		